明治卅九年九月八日第三種郵便物認可　大正五年八月四日　THE KEIJO NIPPO　第三千九百十八號（一）

京城日報

汽車時間表（七月十日改正）

◎ヒューズ氏の承諾演說

紐育來電に曰く共和黨大統領候補者ヒューズ氏は推薦承諾演說に於て米國の權利を力強く主張して曰く米國は盛んに强硬なる言辭を弄すれども其の言ふ所を實行するの意志を缺けり之を以て米國々民生命の喪失を救ふ事を得ず若し當時國家を代表する者にして毅然たる態度を把持するならば恐らくルシタニヤ號事件の如き痛ましき不祥事を惹起することなかりしならんと猶氏は獨人陰謀に關し許すべからざる陰謀を全然防止すべき敏活にして嚴厳なる手段を採り得ざりし現政府の不甲斐なきを非難せり（紐育電報）

◎一聯隊幹部諸共捕虜

露國公報に曰く露國は前進してストクホド河にて交戰中匈牙利第三十一聯隊全部を隊長幹部諸共捕虜とせり又其の他の地點にても將校二十一名兵卒九百十四名を捕虜とし其外機關砲四門を鹵獲せり。ブロディ方面にて敵を追擊中なる我軍はイグヴアイ、セレマ兩河迄到達せり（倫敦電報）

◎ソンム北方陣地保持

巴里に於て三十一日午後發表せられたる公報に曰く獨軍はソンム北方にてヘム森林、モナク畑地に對する逆襲を續くれども總ての計畫其の効を奏する事なく我軍は奪取せる陣地を保持せり・ミューズ東方に激烈なる砲戰行はると（倫敦電報）

◎支那政府の抗議　柴參政官派遣調査

蒙古巴布札布軍と宗社黨と呼應し滿蒙各地不穩の情勢に陷りつゝあるは其裏面に我浪人加擔し居るが爲なりとて支那政府及び某國より抗議し來れるを以て帝國政府は外務省參政官柴四朗氏を滿洲に派遣し事實の有無を調査せしむる事に決定せり（東京電報）

◎支那公使參內

七月二十四日著京せし支那共和國本邦駐剳特命全權公使章宗祥氏は二日宮中より出迎の儀裝馬車に岡田式部官と同乘夫人同伴劉參事官を隨へ午前十時三十分宮城正門より參內御車寄にて加藤、奥平兩式部官の出迎を受け控所に於て波多野宮相、石井外相、戸田式部長官等に面會し公使は隨員を隨へ戸田長官の誘導にて鳳凰の間に進み天皇陛下に謁見仰付られ同國大總統黎元洪閣下の親任狀並に前任公使陸宗輿氏の解任狀を奉呈したる後退出夫人同伴大森皇后太夫の誘導にて桐間に進み皇后陛下に謁見仰付られ著任の御挨拶を言上し十一時宮城を退出せり（東京特電）

◎工場法施行令發布

工場法施行令は施行細則と共に發布せられたり（東京電報）

◎兒玉局長訪問

滯京中なる兒玉總務局長は二日午前十時三十分波多野宮相を主務省に訪問し朝鮮離宮御建設其他種々の要談を爲し十一時過退出せり（東京特電）

◎官邸定例閣議

大隈首相初め各大臣は二日午前十時より首相官邸に參集定例閣議を開けり（東京特電）

◎隈侯山公訪問

大隈首相は二日午前八時十五分早稻田の自邸を出で椿山莊に山縣公を訪ひ約一時間會談する所ありて辭去し直ちに官邸に入り定例閣議に列せり（東京特電）

◎平子山公訪問

平田子爵は二日午後山縣公を訪問し會談二時間にして同二時五十分辭去せり（東京特電）

◎林公使赴任期

新任駐支公使林權助氏は七八日頃東京出發十四日北京著任の筈（東京電報）

◎大阪旅行團着釜

大阪旅行團主催鮮滿視察團一行十六名は三日朝釜山著市內見物の上午後十一時發列車にて京城に向ふ筈（釜山特電）

◎岡田堀兩氏通過

東京府內務部長岡田忠彦氏は學習院教授堀竹雄氏と共に三日朝聯絡船にて上陸午前十時三十分安東縣に向け出發せり、一行は安東縣、奉天を經て大連旅順に至り夫れより引き返して哈爾賓、長春、浦鹽等に於ける日露貿易狀況を調査し十八日浦鹽より敦賀を經て歸東の豫定なりと（釜山特電）

◎優勢なる蒙古軍　背後に傀儡師あり

洮南に向つて殺到せる蒙古宗社黨軍の優勢なることは屢報せしが彼等は昨今洮南を距る西北一百八十支里の突泉縣附近において吳統領の部下なる討伐軍と交戰し官軍苦戰の狀態にあることと事實の掩ふべからざる所なるが如し

▲首領巴布札布は年齡猶ほ四十に滿たざる年壯氣鋭の人物にして東蒙內に一種の勢力を有する者なるも遊牧の聚兵は彼一人の力にあらずして其の背後に傀儡師のあるを知らざる可らず傀儡師とは誰ぞ或は之を宗社黨の頭目升允なりと云ふものあるも實は前清世襲伯爵榮勳なる者にして矢張り民國時局の紛糾せる當時潛かに滿洲に渡來し某地に根據地を置き某親王と相謀り東三省一帶に一種の宣言書を配布し復辟運動を試みたるが其後時局一變せる爲め進んで蒙古に入り軍資補助を約して目下東蒙古に聲威隆々たる巴布札布に匪徒を嘯集し之を以て蒙古軍の別働隊たらしめ裏面に在りて種々畫策する所あり是れ巴布札布が清朝復辟の宗社黨を標榜して猛然蹶起するに至りたるものと解せらる

▲交戰地突泉縣は內蒙古科爾沁右翼中の旗地にして元と醴泉縣と稱せしが民國三年改めて之を突泉と稱するに至りしなり蒙古軍が此の突泉縣を攻擊するや約二千の兵力を以て一は索倫より南荒原を侵し他は烏珠穆沁旗より圖什業圖旗を經て漸次內迫せるものにて一時突泉を占領せしも之れは其後間もなく討伐軍の爲に擊退せられたり去れど蒙軍の勢力頗る優勢にして今や此の附近において盛んに討伐軍を惱まし漸く進みて將に洮南を侵さんとするの氣勢を示せる爲め支那官憲の狼狽一方ならず分けても奉天の張督軍は蒙軍にして若し洮南を陷るが如き事あらば由々しき大事なりとて中央政府に向け援兵派遣を電請すると共に二十七師より砲兵一營及び砲八門、騎兵二營を洮南に向はしめたるが北京政府は目下保定に在る二十七師全部を衛戍地たる新民府に移駐せしめ斯くして盛は二十七師全部を洮南に向はしめ以て蒙軍討伐の衝に當らしむる等にて這次の蒙古軍は前記の如く背後に有力なる後援者もあり往年の勝嶋烏素王等の聚兵に比し一段優勢なる爲め內心大に恐怖し昨今その討伐に腐心しつゝある有樣なり

▲中將吳俊陞が此の優勢なる蒙古軍を討伐するに當り突泉において兵を指揮しつゝある際彈丸に中り重傷を負へるは事實にて支那官憲は士氣の沮喪を恐れ中將の負傷を輕少なりと吹聽し又蒙古軍を匪徒の一類に過ぎずとなし近く討伐平定すべしと揚言し居るも其實之を重大視し居るは前項の如くにして事態決して樂觀を許さゞるものあるに似たり本件につき洮南は勿論、鄭家屯附近より四平街方面に至るまで人心甚く動搖し居れり（八月一日發大連）

◎酒稅令說明

篠川稅務部長は三日午前十時より京城ホテルに於ける酒造業者大會に臨み過般發布されたる酒造令に就き詳細指示說明する處ありたり

◎移入酒商大會決議

朝鮮移入酒商第二回大會は三日午前十時より京城ホテルに於て開會出席者は釜山、仁川、大田、京城等の當業者十五名にして今回發布されたる酒稅令に就き一應當局の說明を請ふ必要ありとし當日は特に篠川稅務課長の出席を求め逐一疑義の點に就て質問應答する所あり午後三時散會したるが其結果五名の委員を選擧し追て當業者より希望の點を具申すること〻し更に增稅に伴ふ販賣法に於ても多少改革を行ふことゝなりたりと

三日夕刊

定價　廣告料

京城太平通一丁目　發行兼編輯人　貞田武雄　印刷人　小川三之介　發行所　合資會社京城日報社

◎重石出願處理

四月一日總督府鑛務課にて受附開始以來重石の採掘出願件數は數百件に上り尙ほ今日に於ても中鮮西鮮を主とし鑛業家の企業少なからずと云ふが本府の重石出願に對する處分の方針は何分價格の變動も烈しき際物の事とて可成迅速に其調査を終り可否の指令を與ふるやう決定し居る爲出願は迅速に其の處理を終り居れど競願となれる者は各種の研究と調査に手を要する事多く其の決裁を急ぎ難き事情あり旁々目下鑛務課の手に處理の殘り居れるは多く競願の件に屬する由尙ほ鑛務課は殆んど全員著休を廢し早出晩退重石處分に當り緊急を要する事務の外殆んど手を著けざる狀況なりと

◎浮塵子發生

忠淸南道にては保寧郡に浮塵子の發生せるより目下上下を擧げて之れが驅除豫防に努めつゝある旨二日其の筋に通報ありたり

◎昌德宮午餐會

李王殿下は三日正午昌德宮に於て總督府近者を招待午餐の御催しあり總督府よりは山縣政務總監、小松殖產局長、遠藤秘書官出列したり

◎井口中將歸任

北鮮方面檢閱中なりし駐剳軍司令官井口陸軍中將は三日朝元山發同午後四時五十六分龍山著歸任せり

◎地查委員會

高等土地調查委員第三部會は三日午前十一時より總督府第一會議室に開催宇佐美委員以下委員出席し土地查定不服申請に關する件を審議の上正午散會したり

◎金剛山講習會

江原道主催に係る金剛山講習會は既記の如く四日より十日まで一週間長安寺に開催講習科目は心理學、博物及び地理にして受講者は各道小學校並に普通學校內鮮人教師六十七名なりと

◎氏子總代選擧準備

京城神社の各町氏子總代選擧の件に就ては目下其準備中なるが七分通り銓衡を終りたるもの〻如く來る十日頃迄に全部の決定を見たる後總代會を開き規約の示す所により大總代常任幹事等を選擧すべしと

◎貴族の順化院視察

京畿道警務部に於て京城府と協力の上施設したる阿片中毒者の收容は客月二十八日以來今日迄九十九名の多きに達し順化院に於て施術し居れるが投藥の成績良好の模樣にて三日は朝鮮貴族及び李王職等より數名の觀察者ありたるため警務部及び府等より二三の係員も出席せりと

◎趙子爵溫井里着

三十一日京城出發金剛山へ避暑の途に就ける趙重應子爵及び同夫人の一行は二日朝元山に滯在し二日夜新路長箭浦に向ひしが三日正午金剛溫井里に到著せし旨電報ありたり

◎黑崎參事官視察

入京中の黑崎法制局參事官は三日午前遞信局を訪問し島田監理課長の案內にて局內各所を參觀事務を視察せり

◎志賀參事出張

鐵道從事員教習所長たる參事志賀信光氏は鐵道院經營從事員の教習所視察の爲め門司、神戶、東京三市へ五日出發の筈

◎全北輕鐵復舊開通

曩に水害の爲め全州裡里間第一列車時刻を一時間繰上げ且第三、第四列車の運轉を休止の處其後線路の被害個所復舊し八月一日より水害前の時刻通り運轉を開始するに至れり

仁川

▲松蛄蟖豫防法　松蛄蟖の豫防法に就き經濟的に其蔓延を防止するには防虫林を設立するが良策と認むるに付之が設定を必要と認むる箇所に獎勵指導せられたき旨今般京畿道第一部長より通牒ありたるにより仁川府當局者は目下適當の措置に付考案中なる由なれば心ある者は府廳に申出づべしと▲商船校設置請願　曩に仁川商業會議所內に有志集合の上決議したる如く仁川商船學校を設置方請願の件に關しては其後協議中なりしが愈々八月四日付を以て奥田貞次郎氏名義を以て其筋に對し請願書を提出したる由

大田

▲秋季演習　步兵第四十聯隊第七十九第八十聯隊對抗旅團演習は來る十月下旬大田附近を中心として擧行する豫定なりと▲畜產改良　大正四年度大田屠殺場に於ける牛の屠殺數は一千一百八十四頭此內牝牛四百七十四頭價格一萬五千九百四十圓牡牛七百十頭價格一萬九千百八十圓計三萬五千百二十圓の成績を見たり以上に依る時は牡牛は牝牛の約半數にて牝牛は蕃殖用として保護を與へられ牡牛の種牡牛以外は屠殺多きを以て改良上好都合なりと▲精米株式出願　大田精米所は從來十三名の組合員にて石田亨氏組合長として昨年十二月より經營し來りしが業務擴張と共に株式組織になさんと協議の結果五十圓株三百株を募集する事となり二十二名の發起人にて全部の引受を了せしを以て先般其筋に認可を申請せり▲電氣動力供給　大田沃川間改築工事中增若隧道は開鑿機使用の筈なるが機械は現今他に使用せるを以て明年四月頃使用の運びに至るべく是れが原動力送電方白川組より大田電氣會社に交涉あり會社にて引受けをなしたる由なるが豫備として据付ある八十八馬力機械を使用することに至るべし▲衛生狀況　降雨永かりし爲め一般に胃腸を害し居たりしが天候稍々恢復と共に暑氣猛襲と果物早熟せしものゝ市街に現はれしとに依り小兒の一部分に胃腸病を發したるものあるも一般に警戒せし爲め七月中には傳染病患者の如き少なかりしと

公州

▲郵便配達變更　公州郵便局に於ては是迄市外配達を六區に分ち隔日に配達し居たるが近頃郵便物の增加と如何なる山間僻地と雖も毎日申報の購讀者あるを以て今般十區に分ち維持方面の如きは毎日配達と爲せり▲學校增築　公立公州尋常高等小學校は目下三百三十餘名の生徒を收容し本年新學期よりは教室の不足を告げ尋常一年の如きは裁縫室を利用して教授し居たるが本夏期休業中に愈增築を爲す事に決し既に入札を終り近日工事に著手する筈なり▲普通學校蛄蟖狩　公立公州普通學校の學校林の中約六町步の松樹に發生したる松蛄蟖を夏期休暇迄に同校生徒の手にて捕獲したるもの七石に達し其の數三十二萬七千七百三十三匹に及べり

群山

▲商議委員會　群山商業會議所にては八月一日豫算編成委員協議會を開催したるが病氣事故の爲め出席委員少數にして遂に正式會議を開く能はざりし▲夏期授業　全北於青島尋常小學校にては盛夏の候と雖も暑熱の爲め就學兒童の健康に支障を來す如き憂なく都會校に比し多少の不備を補ふと共に實力涵養の目的を以て夏期休暇を廢し授業を繼續すべしと▲臨時清潔施行　群山市街は久しき雨天續きの爲め溝渠の氾濫再三に及べる箇所も多く昨今漸く天候の快晴を見るに至れると共に氣溫俄然昇騰し惡疫發生の虞れあるを以て府廳警察協力監督の下に三日間に亙り市街一齊に臨時大清潔法を施行すべし

光州

▲光州電燈問題　光州電燈問題は曩に發起人小倉松田魚谷諸氏より願書を提出し居たるも不備の點ありて一先づ書類を還付されたるが三十一日小倉大邱電燈會社長の來光と共に發起人會を開き再び書類を更正して提出すべく多分兩三日中に書類の完成を見るべし▲本道鹽共同販賣數　本年本道に於ける鹽の非常の好結果にして本日迄に共同販賣に附したるものの總計五十五萬八千十五石價格二萬二千五百十二圓二十三錢にして石平均四十三圓八十錢を唱へたり而して大正二年に比すれば約十二倍に及び價格十四倍に達せるが品質の如きも逐年著しく改良に赴きつゝありと▲本年の傳染病　本年の本道全部の傳染病は極めて少なく七月三十一日迄の調査に依れば赤痢發生以來二十八名にして全治七名死亡六名現患者七名窒扶斯は發生以來九十九名にして內全治六十三人死亡十六人現在二十人ありと之を昨年の同期に對照すれば赤痢は五割腸窒扶斯は六割を減じたり▲持地局長動靜　持地土木局長山岡技師一行は豫定の如く三十一日入光八月一日午前七時水源地の豫定地無等山を視察し午後より水害狀況を聽取し夜官民の晩餐會に臨み二日木浦へ向け出發せり

大邱

▲邱安自動車復舊　雨後道路破損の爲め休業の姿にありし大邱安東間の自動車は漸く路面の改修を了し愈々三十一日より定期に運轉を開始せり▲壽城自衛會設立　慶北道參事を勤めたる秦喜葵氏は壽城郡壽昌面上洞に住居し年來村民の親睦融和を圖る可き機關を設立すべく希望しゐたるが去日此趣意を以て愈々自衛會を設立し具體的に規約をも編纂し加ふるに自家所有の鮮家二棟を無償に提供して集會場に充て其筋よりの通達事項等は洞長をして敏速ならしめ其他村民指導の爲萬事斡旋しつゝあり▲鈴木長官事務視察　鈴木慶北道長官は慶北星州地方視察の爲め高田官房主任を從へ三日同地方へ出張せり▲黑川檢事長歸院　黑川穰氏は病氣保養の爲め內地に歸養中の處二日午後一時十八分の急行にて歸院せり

高靈

▲水害實地調查　慶北高靈郡にては過日來の水害調查に從事せしが三十一日鈴木慶北道長官該地方を視察せし時の報告によれば邑外高靈川堤防約六十間破壞の結果河水氾濫し約四十町步を荒蕪せしめ其他開浦附近洛東江水氾濫の結果浸水地域約百八十町步浸水家屋約百二十全潰二十八戶に達し慶北中比較的被害大なりと

人事消息

▲大谷正之助氏（釜山稅關監視部長）三日夜入京南尾旅館へ投宿の筈
▲エフ、エル、ダーダー氏（米人商業銀行員）三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲立柄教俊氏（編輯官）金剛山講習會に對する授講の爲め二日金剛山に出張
▲有川寬治郎氏（朝鮮軍經理部長）三日朝入京京城ホテルへ

◎王世子御婚儀

雲の上に仰ぐや契る夏の蝶　阜天

稷山鑛業株式會社 第十期決算報告（大正五年上半期）

貸借對照表

負債ノ部

科目	金額
資本金	貳、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
保險積立金	七〇、九〇〇、〇〇
法定積立金	參八、六九貳、四五
配當準備金	參六、〇七七、參八
仕拂手形	參七、九參八、八七
當期利益金	貳壹〇、七九四、六〇
合計	貳、參九四、四〇參、參〇

資產ノ部

科目	金額
鑛區	壹、四貳八、五五九、八九
土地	六、六貳四、八五
砂金層地	六六、七五參、壹九
家屋	壹貳九、六七壹、四五
機械	壹九貳、七三八、四五
器具	壹、四八六、九參
什器	壹、九貳貳、九五
營造物	六、〇六參、壹〇
用度品	壹四貳、四壹七、參貳
坑木	五、六九〇、〇〇
銀行預金	貳七四、五八六、參〇
現金	參、七六四、六貳
金塊賣却代金未收入額	壹〇〇、七〇貳、八參
硫化鑛賣却代金未收入額	壹壹、五〇七、壹〇
假拂金	壹五、〇六八、四九
受取手形	六、八四五、八三
合計	貳、參九四、四〇參、參〇

損益勘定

收入ノ部

科目	金額
石金部總收入	六壹六、四七八、壹六
砂金部總收入	七、六五六、八〇
利子金（收入濟及未收入分共）	四五、四九五、四六
合計	六六九、六參〇、四貳

支出ノ部

科目	金額
石金部總支出	四四六、七四八、七九
砂金部總支出	壹貳、〇八七、〇參
當期利益金	貳壹〇、七九四、六〇
合計	六六九、六參〇、四貳

利益金臨分法

科目	金額
當期利益金	貳壹〇、七九四、六〇
配當準備金	參六、〇七七、參八
保險積立金	七〇、九〇〇、〇〇
合計	參壹七、七七壹、九八
內 法定積立金	參〇、六參參、七參
採鑛準備金	貳〇、〇〇〇、〇〇
配當金（年六分ノ割）	六〇、〇〇〇、〇〇
後期繰越金	貳〇七、壹參八、貳五
合計	參壹七、七七壹、九八

以上

大正五年七月廿七日
朝鮮忠淸南道天安郡笠場面良垈里
稷山鑛業株式會社

キネン萬年筆

◎特價見本提供
遞信局御用品 キネン萬年筆
K號（自働的インキ吸出入式ペン）（責任保證）
甲 正十四金ペン付（定價貳圓廿錢）特價金九拾八錢
乙 合成金ペン付（定價壹圓）特價金參拾八錢
御試用あれ
右二種見本の爲特價提供す五百本限り幸に御申込被下度
特約店御希望の方は御申込
大阪市南區南綿屋町
キネン萬年筆製造元
八木工業所
電話南四一四九番　振替口座大阪三〇六六九

孝昌園……龍山……

方子女王

質素なる御服裝にて學習院に御通學あらせらる

這回李王世子殿下と御婚姻の勅許あらせられたる梨本宮家は明治三年初めて伏見宮守脩親王が梨本宮と稱せられしに始まり只今の守正王殿下は故大勳位久邇宮朝彦親王第四王子に在します、殿下は明治十八年十一月

守脩王殿下の御繼嗣

とならせ給ひ現在の陸軍少將とまで陞らせ給ふまでは陸軍幼年學校士官學校の御勉學より更に聯隊附きとなられ後ち佛蘭西御遊學日露戰役從軍等其さに軍人としての御修業を積ませられた御方で殊に再度の佛蘭西御遊學には同國の陸軍大學を御卒業遊ばされたのである、さてまた妃殿下伊都子殿下に於かせられては鍋島侯爵第三の御姬君にて明治三十三年

宮家に入輿遊ばされ

たのであるが淑に御淑德高き御方にて殊に御聰質なると外國語に秀でさせ給ふと承はるされば今回の日鮮兩國民の楔子とならせ給ひたる方子殿下に於かせられても此の御二方の御德を享け繼がせられ學習院に於ける御成績も殊の外優れさせ給ふと承る、猶方子殿下は明治三十四年十一月四日の御誕生にて御年十六歲、目下學習院女學部の中學科にて御勉學中に在せられ山階宮安子女王殿下や島津公爵令孃文子姬など御同級に在せらる、過日東上學習院女學部を參觀せる成田京城高等女學校長の謹話に依れば殿下には女學部中學科

第三年級の南の組に

御勉學あり御召物の如きも臣下の御學友と些も變らせ給ふことなく折から最とも御熱心に國語の教授を受けさせられしを拜したり、學習院中學科にては外國語課として英語及び佛蘭西語の課程ありまた家政部には裁縫、音樂、體操等あれば殿下にも他の御學友と共にこれ等の學業に勵ませ給ふとの事である。

●大仕掛の電線泥棒

[illegible]

●阿片を密造す

慶北青松警察署の警官が數日前の夜邑內巡回中鮮人旅籠金致鉉方に擧動不審なる鮮人二名宿泊し居れるを探知し同旅籠を臨檢して件の鮮人を取調べたるに迎日郡與海面龍汗洞朱滄海(三五)咸南元山李鳳河(三〇)なる事判明し其所持せる風呂敷包みを開きたる處中より阿片塊現はれ出しより兩人を本署に引致し取調べたる結果兩人は義城郡春山面錦泉洞安錦華(三二)及び同地金龍業(三二)と共に先年西間島に移住しゐたる中阿片煙の高價に賣れるを知り歸鄕後之を造り販賣すれば大した儲けあるを知り歸鄕後その原料を獲る目的にて青松郡縣西面間山洞の山中二斗落の畑に罌粟を栽培したるも生育不良收穫するを得ず更らに同地の農夫より約百五十坪の畑に栽りある罌粟を買收し去月廿日より廿三日までの間前記山中張砂立方に立て籠り阿片煙を製造したるものなる事判明し直ちに連累者檢擧に努め安錦華を逮捕したるが金は何れにか逃走せり

●孝行が身の仇

咸北明川郡上雲北面五郷里張周鉉養子張澤龍(三)は實母金姓女(二)が大正四年五月以降同面の金成三(五八)と私通し居るを探知し世間態を恥ぢて兩名に度々意見せしも一向に聽き入れざるより五月二十六日夜實母方へ待伏せ居り折柄入り來りたる成三に對し其不心得を責りたるに却つて逆捻ぢを食つたるより憤怒の餘り携へゐたる棍棒を以て散々成三を毆打し第四肋骨を骨折せしめ爲めに急性腦氣管支炎を惹起し六月二十七日遂に絕命するに至らしめたること其筋の探知する所となりて澤龍は此程逮捕されたり

●兇賊十名就縛

全南寶城郡復橋面松亭里の豪農徐道鉉(六)方に六月二十九日夜十餘名の強盜侵入し家族全部を荒繩にて縛り上げ道鉉を裏庭に引き摺り出し鮮刀にて全身に十一箇所の重輕傷を負はして慘殺したる上現金九百五十圓を強奪したる事件に就て所轄復橋憲兵分遣所にては其後極力犯人嚴探中の所愈此程兇賊十名を逮捕したり

▲全南高興郡南面ヶ川里林洪(四四)、寶城郡[illegible]▲同郡[illegible]▲同李化(三四)▲同郡[illegible]▲順天郡外西面[illegible]▲寶城郡[illegible]▲同郡[illegible]▲同[illegible]▲島[illegible](二九)

●我漁船を襲ふ

海賊船龍岩浦に現はる

去る一日午前十時頃平北龍岩浦沖合西水島附近にて內地人漁船三隻が出漁中銃器を携帶せる支那海賊船二隻現はれ突然該漁船に對し發砲したるため乘組內地人漁夫二名は脚部に負傷したりとの急報に接し龍岩浦警察署にては直ちに署員警備船鏡丸に乘組みて現場に急行したり

●京仁間自動車

目下其筋にて審議中

仁川奥田貞次郎氏等は今回仁川京城間の自動車營業を出願し目下其筋にて審議中なるが今其の內容を聞くに兩地間の發著回數を一日十回位とし此の間の距離十一里八町を約一時間二十分にて達する豫定なり賃金は略二等汽車賃と同樣位とする見込みにして普通列車の約二時間近くを要するに比すれば時間の經濟よりすれば多大の便利ありと

京城の郊外(三)

孝昌園の深林

京城の人達は南山の涼しい事をよく知つて居る每朝早くから隨分遠い路を厭はず登つて來る人達が多いがすぐ向ふ側龍山の入口に孝昌園の深林在る事を知つて居る人は少いらしい

▽練兵場の 停留所で電車を降り薔薇商業の横を突切ればすぐ徑は孝昌園の松林へ走り込んで居る、際しの見わね園內は何處まで行つても松の森林と喰々交つて居る雜木の密林とである、南山の如うな坂道もなければ灼き付ける樣な日に直射さるゝと云ふ處はない

▽森の中は 茂みを漏れて降り注ぐ日光が月あかりの如うに仄かに靜かである、園內には木立を縫ふて幾筋もの道路や雜草の蔭を映して流れゆく小川や、何かの物語りにでもありそうな森かげの池などが自然の巧みに排列されて居る、孝昌園は

▽李王家の 墓陵の在る處、又孔德里の舊大院君邸の庭園に續いて居る、それ故に森の涼しい風に送り迎へられて何處まで步いて行つても却々涼しい蔭は盡きない、小さな谷の間や岩の根には燃ゆるやうな姬百合や珍らしく今頃まだ

▽菖蒲の花 が咲いて居る、蟬の聲が見ねない森の奧から奧から幾千となく聲を合せて歌つて居る秋らしい虫の聲や秋咲く花が夏草の地に美しく模樣を見せて居る、お辨當持つて『今日は一日茲で書を讀むの』と樹の間に二つ三つ吊床を並べて語り合つて居る少女や差し足拔足して

▽蟬取りに 餘念のない子供などがそこにも此處にも夏を忘れて樂しげに遊んで居る、夏の樂園へ、森の蔭へ、涼しい池の畔へ、皆さんに孝昌園行きをお勸めします。

●世を厭つて自殺

京城本町二丁目居住長崎市大黑町生れの谷川常太郎(四)は豫て梅毒に罹り居れるも赤貧洗ふが如き上に妻子ある身とて去る三月八日總督府醫院施療部に入院して加療中なるも一向に全快の見込みなく妻は他家に奉公して辛くも幼兒を養育しつゝある有樣なるより前途を悲觀したる末八月三日午前五時頃總督府醫院構內の立樹に自分の縮緬兵兒帶を掛けて縊死を遂げ居るを發見し鍾路署より係員出張檢視の上屍體は妻へ引渡す

●船夫海に落つ

仁川署管內富川郡西串面新於島三統九戶漁夫金善景(三)は去月十八日江華郡邑內面角里金承順の依賴により同郡仙源面神井里韓春未(三七)と日本型荷足船に同乘し鹽を積載し當港より開城郡昌德浦に至り同日歸途午後八時頃同郡油龍浦沖合に差し掛りたる際風雨折柄激しく同人は必死となりて作業中突然金は海中に落込み遂に行衛不明となりたるが屍體は其後同郡堂頭浦に漂著したる旨西串面長の屆出でにより仁川署より係官出張檢視の上屍體は遺族に引渡さる(仁川)

●高所から墜落

京城西大門町朱完信方同居支那人王有天(三八)は一日午後九時四十分頃鍾路六丁目に新築中なる煉瓦建家屋工事に從事中誤つて高さ十三尺の箇所より大地に墜落し顏面後頭部等に數箇所の裂傷打撲傷を負ひ目下東大門外婦人病院に入院加療中なるが生命に異狀なし

●貨幣の僞造

青島齊南町劉景知(三)及び同白山町高作題(三七)の兩名が去る二月以來山東省平度縣にて五吉思外二名の支那人と共謀し中華民國貳銀貨(袁世凱肖像入)二百枚其の他二十錢銀貨百五十枚を僞造し且つ行使したること發覺し青島に於て捕縛せられたるが其後尙ほ同銀貨の僞造物往々發見さるゝより其筋にて取調中なるが山東省內にて前記支那人の外にも尙ほ貨幣の僞造をなしつゝある形跡ありと(青島)

●泥棒は情夫

釜山府大廳町四丁目國分まさ方同居山本たまは去る二十二日より二十九日の間に縮緬の羽織、縮緬珍の帶其他價格八十餘圓の衣類を盜難に罹り爲め釜山署にては犯人の搜索中なりしが右は同人の情夫たる兵庫縣生れ丹田年四郎の所爲と判明し去る一日拘引されしが同人は去る七月中旬より、たまと情を通じ居たりと(釜山)

●浮氣女の驅落

宮崎縣臼杵郡北方村鑛夫萬見喜太郎(二八)內緣の妻日野かめ(二三)は豫ねて長崎の里方に預け置きたる長男吉太郎出迎への爲め去る七月十九日長崎に行く途中汽車中にて福岡縣山門郡沖端村開田善雄(二八)と情を通じ別府溫泉に一泊したる上直ちに手に手を取りて去る廿四日釜山に來り善雄と同居し居たるを夫喜太郎に探知され去る二日喜太郎來釜の上鄕里に連れ歸れり(釜山)

●竹澤彌七死す

京都聞の町萬壽寺上る淨瑠璃の三味線彈七代目竹澤彌七こと齋藤豐吉は去る五月より胃癌を煩ひ療養中なりしが去月三十一日午前二時永眠せり同人は六代目竹澤彌七の門弟にて竹本織太夫、竹本山城大掾、前竹本綱太夫等の三味線を彈き居り京阪間に多くの門下を有し曲彈の名人として斯界に一頭地を拔き居れり享年七十三葬儀は二日澁谷火葬場にて執行せり(大阪)

●大火傷

慶北尙州東門外牛皮乾燥場の溫突に居住せる密陽生れの吉望生(三)は妻小古里(三)外一名と共に睡眠中去る二十六日午前一時頃カンテラより火を失し蚊帳に燃えつきしに目を覺したるがこの時は已に白煙一面に塞がり逃口を失ひしも大望は漸く一方の窓口より逃げ出し表戶を破壞して妻及女子を摑み出せり火は室內部の數帳寢具を燒盡したるのみにて大事に至らず消し止めしも親子三人は大火傷を負ひ妻小古里は乳の下一尺四方を發すのみにて全身黑焦げとなり同夜十時遂に死亡す

●船客五十名を拉去す

安東縣三番通鴨江商會所屬汽船第五幸榮丸は支那船客五十名を搭載して七月二十九日大連港出帆安東縣へ向け航行中三十一日午後三時頃大鹿島附近に於て支那海賊船突如來襲せるが折柄前後して航行中なりし鮮運送會社艀三隻は逸早く進路を轉じ虎口を逃るゝを得たるも最後に在し前記幸榮丸は共進なく逃迷ふ中賊徒は小銃を發射しつゝ接近して船員を脅迫し多額の金品を强奪したる上支那船客五十名を拉して何處ともなく逃走せるが前記遭難船は安東へ歸航の途中龍岩浦沖にて同地警察所屬の警備船に出會し直ちに此旨報告せるより目下其筋にて搜査中なり(安東縣)

●無許可の宿屋

仁川花町一丁目十五番地宿屋業金順明(三五)は其筋の許可を受けず去月二十九日より自宅に宿屋を開業したる廉により仁川署にて科料五十錢に處せらる

●京城清涼社の大擴張

同社は[illegible]氏大正元年の創立に係り初め本町三丁目に開業せしが同所は市街繁華の地にして飲料水製造の土地として不適當なるより昨年來岡崎町の高燥の土地一千坪餘を卜し新築中の處先月落成し目下移轉しつゝあり同所は凡て新式の[illegible]

●モヒ中毒患者 救療所

李伯一行の參觀

[illegible]規則的生活と制限的注射―大部分は好成績―一萬圓の經費―貴族等の賛同

京畿道警務部が本町、鍾路兩警察署京城府廳と協力して市內に於けるモルヒネ、コカイン注射中毒者の救療を企て、その第一著手として去月二十七日癩者中毒者九十九名を救療所に宛てた順化院に收容したがその後の經過を聞くに收容當時注射療法を行なつたものは九十三名の多きに達してゐたが昨今に至り

◇僅かに二十五名に 減じ他は悉く注射以外の療法を受くる事となり本月一日に全治退所する者六名を見るの好成績を示すに至つた、右に就いて三日午前十一時から李完用伯、尹德榮子爵韓昌洙男、國分李王職事務官、韓相龍氏等の外李王職職員數名は限部警務部長の案內で同所を參觀し同日は石原府事務官、宮舘、松井兩署長李鑑衡氏等も參觀した李完用伯の一行が同所を辭去せんとする時一行中の某氏を介して某男爵の子息といふのが自から

◇進んで救療を申込 んだが入所を許されて收容される事となつた、限部大佐は『こういふ風に每日救療を申込んで來る者が六七名はある』と言ふ、收容所を覗いて見ると血氣盛りの男子ばかりが蒼い弛んだ顏を四角な木枕に押つけてゴロ〳〵寢そべつてゐる中には大分血色の好い者もあつて、立附近をブラ〳〵步き廻つたり、膝をしながら扇を使つてゐる者もある、秋原副官の話によると入所當時は動きも取れなかつたり、苦悶を續けたものが兎に角

◇今では餘り苦痛も 訴へなくなつたし運動がてらに庭の草取りなんどする樣になつたさいふ、見るところ慨して元氣らしい樣子が見ゐる、それでも夜になると道がに幾らか苦痛を覺ゆると見ゐて騷ぎ出すけれども慨して成績はいゝ方であるさうだ、八月二日までに逃げ出した者が八名ばかりあつたが同所の規律的生活及び制限的注射に堪へかねて逃走した者だらうと思はれる、然かもその大部分は感謝の意を表してゐる、然かして京城市中に於いて阿片を吸ふ者、モルヒネ、コカイン注射をする者は

◇尙ほ約五六百名 ありその十分の一は赤貧者で妓生の抱主、支那に來往する商人、浦鹽に出稼ぎする勞働者等が就中多く尙ほ相當の門地を有し且つ資產ある者で此の惡習に陷つてゐる者がある、是等の全部を收容治療するには一萬圓餘の經費を要するわけで此の際篤志家の援助に俟つと同時に此の種の問題に就いて平素意見を吐露しつゝある人の

◇實地觀察を希望 する次第であると當事者は言つてゐる、當日參觀の貴族連中も親しく同所の實況を見て感ずる所あり、その措置に就いて贊同の意を表すると共に近くその子弟をして同所を參觀せしむる旨語つたさうである

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三
新派大悲劇 乳姉妹 全四卷
探偵大活劇 天誅 全四卷

黃金館 納涼特別大興行
世界的大冒險 名金 第七篇第八篇

小笠原譽の靈狐

御成座 御成町 電話一九一九
新派中村榮一行

黃金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下)
八月三日より納涼特別大興行

壽座 京城壽町 電話五七八番
東京演劇協會東京歌舞伎女優中村路香澤村紀久八松本錦糸合同一座
八月二日初日替り
一番目 奥州安達ケ原二幕
中狂言 白浪五人男
切狂言 喜劇化物屋

大好評の大正館
天守の狐 天竺六郎
舊劇 天誅 前編四卷
探偵大活劇
新派悲劇 乳姉妹

外務員 金德鉉
外務員 木原常三
右兩名者今般辭職解雇致候に付爾今當店に何等關係無之者に付此段廣告候也
八月二日 京城太平通二丁目
商業銀行朝鮮債券部

胃腸最新藥 チゲスチン

青木古物店 龍山 何でも買ふ

指環及時計 仁川本町 糸岐商店

牛乳拾箱 龍山駐箚陸軍倉庫

定價表無代進呈 秋播種子 平壤 內田百花園

小資本にて金儲け現る 大澤商會

瀨戶外科皮膚科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戶潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

……の急報に接したる張店通信所よりは恰も同地出張中の横倉電信隊長外六七名の……盗電に當り電柱第三十番より三十三番に至る間の軍用電線二筋切斷され延長四百米突にて前記兩電柱は地上……某名宛を派し極力犯人の捜索中なるが未だ逮捕に至らず(消息)

●群山の素人相撲　愛に東京……の素人相撲……れるが毎夜見物人を以て場内に溢るゝの盛況を呈し居れり(群山)

●連絡船上陸客　二日朝入港……二日夜入港壹岐丸(一等)……[illegible]

●漢江の流れには
渦巻がある
△水泳者は注意せよ▽

□昨今三伏の暑さに京城の人々は漢江の水と親しむ時季となりました
□府内の各小學校及び中學校では八月一日から新龍山の先きなる西氷庫で水泳を行ふことゝなりましたが先づ漢江の水泳場としては西氷庫が一番と思はれます
□夏の間水に親しむのは衛生上にも有益なことではありますが先日以來京城商業の生徒や小學校の生徒や[illegible]の鮮人等再三漢江に於ける溺死者が出來ましたから一般の人は注意しなければなりません
□殊に漢江の鐵橋下流の如きは河床の悪い上に處々水流の渦巻きがありますので不案内の人には往々不慮の間違ひが出來るのであります
□それで一般子供を有たれる人々は相當な監督者無しには決して水泳をやらせぬやう御注意を願ひたいのであります(京城府學務課長談)

芙蓉

●昌徳宮仁政殿に
千鳥の曲

□尺八都山流の宗家中尾都山氏の吹奏□
▽尺八都山流の宗家中尾都山氏は三日午後一時より昌徳宮仁政殿に招かれ李王殿下の前に得意の尺八を吹奏することとなりました
▽また妃殿下はじめ朝鮮貴族女官の人にも三四十名出席、内地人側には山縣政務總監と小宮次官が招待せられました
▽曲目は先づ「千鳥の曲」を箏曲と合奏することゝなり尺八は都山氏と門弟の細田都揚氏、箏曲は瀾てる子氏と飯田きみ子氏が演奏することゝなりました
▽第二番目の曲目は尺八本曲「岩清水」一演奏者は矢張り右の四名です
▽第三番目には五人揃ひの三曲演奏「松竹梅」が試みられ尺八は都山氏、都揚氏、都谷氏の三人、三味線は飯田きみ子氏、箏曲は瀾てる子が演奏しました

●パコダ音樂會　李王職音樂隊は例に依つて三日木曜日午後八時よりパコダ公園奏樂堂に於て演奏會を開く其の曲目左の如し
△行進曲、戰地の快活(ステラウッ作)△長唄、越後獅子△ワルツ曲、滑稽の姉妹(レハ作)△序曲、白い婦人(ボイエルデ作)△ヴエルノオペラ綜合曲(ヱッケルト作)△西班牙箏曲(カバレロ作)△序曲、セミラミス(ロシニ作)△カテリレ曲、孤學生(ミロゲル作)△短唄、三下曲△カロプ曲、妖怪(ホウスト作)

●豊原訓導歸國　去る明治卅九年以來府内日の出小學校に勤められた豊原太郎先生は今回病氣の爲め内地の郷里へ歸らるゝこととなり四日午前八時半南大門驛を出發されます

●島村教諭歸鄉　此の程夫人を亡はれた京城高等女學校教諭島村新右衛門先生は來る八日夫人の遺骨を携へて歸鄉されます

●九野教諭寫生旅行　京城高等女學校教諭九野勝次郎先生は五日濟州島の寫生旅行に出發されます

●後藤[illegible]師歸京　[illegible]中なりし府内[illegible]師は一日午前八時南大門着歸京の筈

婦人界消息

△大橋はじめ(愛國婦人會主幹夫人)今回御主人始め愛子さん等と共に仁川に避暑せられました、日數は約一週間、宿は親族にある敷島町の月伏氏宅
△茂木けん子(京城高等女學校教諭)數日前より竹原郡金剛山の探勝に赴かれました近日歸京の筈

神社とお寺と教會

○妙心寺(長沙洞)　妙心寺別院にては毎月一日より九日まで夜間接心を催し居れるが八月も接心は平常接心を爲すことゝなり毎朝午前四時より七時まで接心を修行する由
○開教院(大和町)　四日午後一時より托鉢法要及び說教あり、説教は四日午前八時半より[illegible]にて仁川[illegible]寺へ[illegible]

—△會いろいろ▽—

□都山氏歡迎演奏會　六日(木曜)[illegible]有樂館にて開催、[illegible]の三曲演奏に次いで都山氏の尺八吹奏が試むべしと
□英語倶樂部　南大門通基督教青年會にては四日午後八時よりドクトル、ダニエル氏の英語倶樂部開催
□鮮語講習會　南大門通一丁目京城基督教青年會にては八月一日より向ふ四十日間毎日午後三時より一時間宛鮮語講習會を開會せり

灯ともごろ

◎にんじん枝豆和へ　人蔘を皮をとりてせん切りとして湯をたしみりん醤油にてあじをつけ煮汁を切りて置き枝豆みそすりて煮立つ湯に入れて茹で水にとりてさやをむきてすり鉢に入れてすりつぶし砂糖少しと塩少しとを加へてすりまぜ前のにんじんを入れて和へまぜる(脊木はつ子)

番茶のあこ

此の頃は朝鮮の人が藥水汲みに行く時季である△藥水は名の如く飲むで藥になるといふので朝鮮の人々に大事がられて居るがそれが多くは北漢山の谷間とか深い樹立の間とかにあるので面白い△殊に櫻の名所の加古里あたりでは白衣の婦人が藥水の水瓶を頭に戴せてあの高い岩山の間を歸る處など確かに一幅の畫題であると思ふ△京城附近ではラヂウムを含むだ西大門監獄の山から景福宮東側の三清洞が有名であるが△殊に後者の「星祭井」は昨年高等普通學校の高橋教諭が腹痛みを癒したといふので評判であつた

妙齢の婦人が飛行機學校の先生
△米國テキサス州のサン、アントニオ▽

◇何事にも突飛なことを以てお自慢の米國ではまだ芳紀正に十八といふ花のやうな女流飛行家がある
◇併も此の年若き飛行家は堂々たる一つの飛行學校を有し幾多の有髯男子に飛行術を教へて居るとは先づ日本などには類が無からう
◇此の健気な女流飛行家は女の宙返り飛行家として世界に其の名を謳はれたカザリン、スティンソン孃の妹なるマジョリー、スティンソン孃なのである
◇それにまた此の姉妹の間の男兄弟エドワード君もまた有名な飛行家であるから世間ではこの一家を飛行家族と稱して居る
◇飛行學校はテキサス州のサン、アントニオといふ所にあり面積七百五十エーカーの廣さで附近には山嶽や丘陵などが無いから突風や強風に機體を煽られる憂ひが無い
◇のみならず同地附近は天候が非常に順調で冬期も霧や霰が立たないから眞に理想的の飛行場と稱せられて居る
◇此の女飛行家の門下生には昨今廿四名の男子があつて各自飛行場の一隅に天幕生活を營むで居るが稽古用の飛行機は總て五臺で中には三臺のライト式と二臺の新式複葉飛行機とがある
◇教授料は一人につき五百圓を要するが毎月多數の新入生が應募入門する
◇されば練習生の多い事は北米にある十數箇所の飛行學校中第一で卒業には別に年間がない
◇中にも一番早く卒業したのは目下英國海軍の飛行中尉として戰線に働らいて居るブーマンといふ人で此の人は僅かに二週間で素人から一足飛びに立派な飛行家となつた

宮本武藏
第百十八回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

雲井といふ遊女が新造の浮舟を呼んで何か私語くと浮舟が心得て表坐敷へ參りまして障子の外から　浮『アノ尾張屋の親方』　清『アイ何だね』　浮『アノ少なお顔をお貸しなすつて下さいまし』　清『浮舟さんかね、今往きますよ、先生少々御免下さい』と障子の外へ出て　清『何か花魁の御用かね』　浮『ハイアノ少し親方さんにお話申したい事がありますから鳥渡お出を願ひたいと花魁が……』　清『さうかね、直ぐに行くよ』と奥坐敷へ這入つて來ました　清『花魁、何の御用で』　雲『ア、親方さんでございますか、お招き申して相濟みませんでした、少々お聞申したい事がございます、アノ只今表坐敷にお出になるのは宮本先生と仰しやる方でございますか』　清『エヽ能く御存じで宮本武藏先生でございますよ』　雲『其れではアノ洵に申し兼ねましたが雲井が少々お目に懸つて申上げたい事がございます、恐入りましたが鳥渡お出を願ひたいと什麼ぞ宮本先生へ申し上げて下さいまし』　清『ヘエ花魁、何でげすかい宮本先生を知つてお在なさるので、之りやア驚いたお馴染なんですかね』　雲『能く存じて居ります、お目に懸りたい〳〵と日夜思ひ焦れて居りましたが樣な願ひが届いてお話申すことの出來るのも日頃信ずる神佛の御引合せと思へば此んな嬉しい事はござんせぬ』　清『イヨ〳〵大變な事になつて來た、一通りや二通りの馴染ではない、什麼も驚ろいたな之れは』　雲『什麼ぞ先生に宜しく申上げて下さいまし』　清『申しますよ少し待つてお呉んなさい、什麼も大變な事になるもんだ』と清十郎は周章てゝ元の坐敷へ這入つて來た　清『イヨー先生』　武『什麼した清十郎』　清『清十郎もないもんで、什麼も貴所には驚きました』　武『何を驚ろいた』　清『兩刀所ぢやア兩刀を使ふからか、腕のある事千手觀音の如し、油斷のならないといふのは先生貴所の事で』　武『何んだ少とも分らん』　清『私も分らなかつた、先生何日雲井さんとお馴染になりましたね』　武『雲井』　清『先生は可なり遊興もなさるけれど堅い御方、雲井さんが那んなに迷ふほどの色男とは夢にも知りませんでした、人は見掛けに依らないもので』　武『何だ雲井が什麼したといふのだ、一體貴樣の話が分らん、確かり言へ』　清『まア何でも宜いから早く往つてお遊んなさい、奥坐敷で待つて居ます、貴所に遇ひたい〳〵と思つて神佛に祈つて居たといふぢやございませんか』　武『ハア何か知らんが雲井といふ者が拙者に遇ひたいと申すのか』　清『日夜焦れて居たさうで』　武『フム不思議な事があればあるものだ、その雲井といふのは何所の者だ』　清『先生まア好い加減になさいまし、何所の雲井つたつて三浦屋の雲井さんより外に吉原に雲井といふ花魁はありやアしません、其外雲井といふのは煙草ばかりで』　武『三浦屋の雲井といふ女が拙者に遇ひたいと申すのか』　清『ヘエ』　武『遇ひたいと申すなら遇つても差支ないが何所に居るのだ』　清『遇つても差支ないなんて白を切つて居る先生も人が悪いや、ねエ皆さん驚いたぢやございませんか』　並『什麼も之れは恐れ入つたな、宮本先生が斯ういふ馴染の婦人があるとは我々思ひも寄らなかつた、シテ見ると劍術ばかりではない女に懸けても大した技倆だ』　山『左樣々々什麼も驚き入つた、何しい御艶福で結構でござる』と三人が代る〳〵羨笑で居る樣子　武『何か一向存せんが拙者に遇ひたいと申すからは仔細もあらう、宜し遇つて遣はす』　亭主坐敷へ案内いたせ　清『遇つて遣はすなんて恩に著せなくつたつて宜うございます、まア御悠り御話なさいまし、サア御案内いたしますから』と亭主が先へ立つて行く、武藏後に隨いて奥坐敷へ來ると、障子を開いて浮舟が出て居る　清『浮舟さん先生を御案内申したよ』　浮『有難うございました、先生什麼ぞ此方へ』といつて導く　宮本先生　武『許せ』とズツと通つて坐に著く、間もなく下手の襖を開けて立出でました雲井、武藏の前へ手を突いて頭を下げ優かに挨拶を致しました、抑も此婦人は何者の娘か。

隆鼻術　整形術　午後及夜間
新龍山三角地(郵便所隣)
山田耳鼻咽喉科醫院
電話五三五番

入院隨意　京城南大門通三丁目(藤木商店横入る)
胃腸病院　電話一六五九番
院主　佐々木杏造

八月五日九星
舊七月七日　甲戌
本命二黒　坤　平　先勝

●二黒　無理は極る不可　新事見合東方は吉　▲三碧　承服せざる事有り　新事手控舊事は吉　▲四緑　不調の日なれども新規の方吉　萬事は吉　▲五黄　[illegible]　▲六白　貸借の口入を爲す勿れ　▲七赤　[illegible]　▲八白　[illegible]　▲九紫　[illegible]

商況

東京株式特電
[illegible]

債券現物特電
[illegible]

公債直取引
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報

●浪平板の前途　[illegible]

●二錢の値上　[illegible]

●先行き　[illegible]

●平板及浪板の逆輸行　[illegible]

●本國入電　[illegible]

●可能なる當分輸入不可　[illegible]

●軍靴注文と牛皮　[illegible]

●對之影響　[illegible]

●原皮市場　[illegible]

●秋皮出廻後　[illegible]

●綿糸綿布漸落　[illegible]

●一圓高更に五錢高　[illegible]

●鐵板は昂騰約八圓方高報　[illegible]

●洋釘の其後　[illegible]

●銅類の近況　[illegible]

●生果更に安し　[illegible]

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

●南大門の廻穀　[illegible]

仁川期米
三日前場　[illegible]

賃に二十七錢下げ放れ入電二節十一錢と尚不勢の移りに十一錢安に寄付大阪六節十八錢と引返し移り　[illegible]

市場零聞
▲前場變動す　[illegible]
押目は買聲勝　[illegible]

仁川米豆取引所
三日の十月限
[illegible]

生魚市場
[illegible]

釜山市場
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

三巳仲買店　[illegible]

▲前場の手振　[illegible]
動搖な來人氣は頗る　[illegible]
▲相場下げ遊る　[illegible]
七錢切れ籾少六　[illegible]
正米界の依然高を持續し一般の買人氣に強氣筋は見込　[illegible]
▲來客買募る　[illegible]
▲各店大商内先賣の期近買の　[illegible]
▲期米目先觀　[illegible]
仁川獨特の相場を演出し居る場合　[illegible]

利　仲買店　仁川米豆取引所仲買人　[illegible]

小賣白米　[illegible]

肌艶やかな健康美

夏痩もせぬ強壮な身體は

日頃持薬に召上る

婦人良薬 **中将湯** の効目で

暑さに負けぬ御婦人の誇り！

婦人衛生手引

御申込次第無代進呈

本書は月經時の手當を始め、婦人諸病の完全なる家庭療法、產前產後の攝生法等を知名の專門醫學士が親切丁寧に述べられた婦人必讀の寶典で郵料として郵券二錢を添へ御申込みあれば無代進呈致します

主治効能

◎子宮病子宮内膜炎にて白帯多く前腫れ又下腹腰足の引つり痛む人
◎婦人神經（ヒステリー）血道にて氣鬱痛高ぶり物を苦にし夜眠れず
◎月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
◎逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え◎息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
◎十七八歲になりて月經なく血よどり又た月經の前後に下腹痛む人
◎白帯赤帯帯下多く顏色蒼白き人◎冷症にして難產流產の癖ある人
◎產前何となく常ならざる人、嘔吐產後古血の滯り、或は肥立惡しく
◎此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら／＼と惡しき人

定價

二日分二十錢	四日分卅五錢	一週分六十錢	二週分一圓十錢
三週分一圓六十錢	五週分二圓五十錢	十週分四圓五十錢	廿週分八圓五十錢

○加減藥あり容態詳しく御申込あれ　一週分七十五錢　四週分二圓五十錢

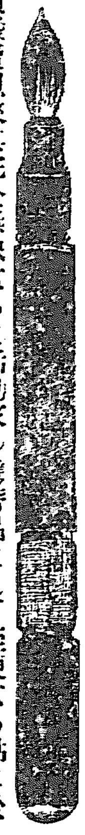
本舗

東京日本橋通四丁目　**津村順天堂本店**　電話本局六十二番六十三番　振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町　**津村順天堂支店**　電話南二十五番　振替口座四五六番

■中将湯は世界到處の藥店にあり市內は配達無料

タイヨー萬年毛筆



特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帯品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收たれば聊か謝意を表する爲跡五千本を限り特價六十四錢　振替貯金口座京城三〇〇番　京城日報社代理部

長壽靈品は「ヨーグルト」

京城旭町　荒井牛乳販賣部　電話一〇

滋養 健康の母「荒井の牛乳」

自分の髪でも見惚れる程

自然の黒髪の様に染るナイス

登錄商標

白毛赤毛染 **ナイス**

五大特長

一 タツタ二十分で染る。
二 永く褪めず剝げず。
三 襟、枕に汚染せず。
四 染色艶々しき漆黒美麗。
五 染方至極手易なり。

價　大函七十錢　小函四十錢　男子用三十錢

大阪、東京　丹平商會發賣　各地化粧品店藥店にて販賣す

MITSUWA QUINA IRON WINE.

is made after a through scientific investigation, is absolutely free from defects found in general tonics on the market: is very delicious, fragrant and perfectly absorptive and assimilative.

As a tonic, for persons of weak constitution or in deseases of anaemic or of debility, in weakened digestions, etc., it is unrivalled.

Price ¥ 1.50

滋養強壯料

ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大　健胃補血鐵劑作用卓絶

本品は學術上十分なる研究を遂げ、芳醇無比の天然葡萄酒を基礎とし、人造著色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものにして、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等有らゆる効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を存するを以て、食慾缺乏、榮養不足、慢性の發熱並下痢、貧血、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー產後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき滋養的飲料たると同時に、精神並身體の疲勞を回復し、元氣橫溢精力增進を欲ずる場合に推獎すべき家庭必需品なり

(ミツワ品實寫圖)

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目　振替東京一七一〇番　**丸見屋商店**　營業部電話浪花三〇〇四・八四四・九四四・五五〇番

京城日報 第三版
四日朝刊（夕刊と合せて八頁）
定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵送料一ヶ月金拾五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢 特別欄一行金壹圓
發行所 京城日報社 太平通一丁目
印刷人 小川三之介

諸問機關

京城日報

我帝國政府當局者は、臺灣律令制定の爲めに、一定の諮問機關を設くるの意ありて、今其調査研究中なりと傳ふ。臺灣には當初官吏の手を以て組織するところの諮問機關あり、律令制定に際し調査審議して意見を表示するの規程なりしに、其を無用なりとして一旦廢止したり、今若し再び之を設けむとせば、其組織權限に多少の變更を加ふるものあるべきや論なし。

其れ朝鮮制令と云ひ臺灣律令と云ふ、共に是れ緊急の場合に於ける總督命令なり、若し諮問機關を置きて其制令手續を複雜にするがごときは、緊急の場合に於ける總督命令たる所以を失はざるべからず、是れ臺灣に一たび之を設置しつゝ之を廢止するに至れる次第にして、特殊の理由なき限りは其を再設するの必要なきや言を待たざるなり、且制令律令共に其を制定發布すると極めて稀れなり、折角諮問機關といふものを設くるも殆ど其行動を見ることなきの實あるべし。

尤も英國の屬領植民地には、間々諸問機關を置くものあり、然れども是れ寧ろ地方自治體に於ける參事會のごとき性質を帶ぶるものにして、其存在は平生相當の行務ある爲めに、相當の理由を具ふる所以なり。但し此種諸問機關には土著人民を加ふるの例なれども、實際は所在英吉利人大多數を占め、實權亦自ら此に存するは當然にして、公共の事務に就て所轄官廳の指揮監督の下に其事に從ふといふのみ。

新領土人民をして其公共の事務に參加せしむることは最も望ましきことたり、而して其の最も適切なるは地方事務なり、假令地方自治制を布かずとも村落には自ら村落の事務あり、市邑には自ら市邑の事務あり、共敎育衛生より火難盜難の取締に至るまで、隣保相結びて其事に當り其責に任せしむ、即ち是れ自治の基礎を開く所以にして、佛國政治家ラネッサン氏が交趾支那總督たるの際、先づ村落自治警察制を定め、土著人民をして能く其公共の利害を自覺せしむるの端を開きたるは世人の皆く稱揚する所にして、隣保相依り同業組結して利用厚生の道を求むるは、即ち其自治の政治的進歩を圖るの最先要務なり、其本を務めずして其末を追ひ、徒らに無用の虛物を設くるが如きは吾人其の可なる所以を知らず

米國と支那（二）

戰後の經濟的活動

一、商務聯合會（續）

▽米支銀行設立案 本案は曩に米國渡支實業團が上海に赴きし時米支提携實現の一方法として企業機關開設の要を認め、既に資本を千萬元とし兩國各折半して出資すべくしこさあり、其後各省商業會議所辦理の權限は均等なるべきを議定せ[illegible]して株金の募集を始め且つ中美銀行事務所を上海に設けて辦理に便ならしめ居るものある事を提出者より說明して討議の末各省商業會議所を甲、乙、丙の三等に分ち給額三百萬元を按分引受けの事とすべく、右は三箇月以內に募集を始め六箇月內に尙引受金額に達せざる時は更に米支銀行總事務所より通告して殘額を徵募すべく、又右三百萬元中百萬元は之を後掲米支汽船會社の出資に充つる事あるべき旨議決せり、然るに其後議決に聊か變更を來し結局米支銀行資本額出方に付ては三百萬元を發起人にて引受け殘り三百萬元は級差に應じて之を各省商會に割當つる事とし三箇月內に株式募集に著手して六箇月內に終り內百萬元を米支汽船會社の資本に充當すること〃なり既に此趣を全國並に海外の各總商會に通達し且つ其の諮計畫として創立事務所を上海及び北京に設け株金募集其他の事務を辦理するに至れり

▽米支汽船創設案 本案は彼の太平洋汽船會社の停航以來米支兩國間の船舶著しく減じ連輸上に阻止を與ふること尠からざるの今日は即ち支那航業發展の最好適機と云ふを得べく現にダラー商會より米支汽船會社の創設を提案し來り其計畫としては五百萬元を以て一萬噸級の商船四隻を造る事とし資本は之を米支實業家の醵出に俟つべく若し支那財界之が半の負擔に堪へざるときは米國側より餘分の引受を辭せず、倘有汽船は之を支那に於て建造するも造船材料建地の供給は一に之を米國よりし又該船成築の上は之を支那政府に依嘱して專ら米支間の航船に充て兩政府に論願して其船舶の附加稅として徵收すべきものを航業費補助金に充てしむべし尤も本案は手續煩雜にして今回商討中なるにつき議案提出は追々報告に及ぶべく茲には本案其物に對する贊否を問ふに止むる旨說明あり、總て附議結局其決は後日に讓ることゝなり何等決定を見るに至らず以上米支商業會議所聯合會は同附稅商品陳列館創設、米支汽船會社設立の三者は近時最も世の注目を惹きしものなるが倘米支銀行其他については少しく詳說すべし

大連の油房業 悲觀

大連は特產大豆の南下と共に油房工業地となり一方に油脂製造業も興らんとし大豆の爲に種々の新事業を生み來れるが是迄も時々報道したる如く大連の油房業は昨年來不況一方にて經營益々困難となり滿鐵會社より工場を讓受けたる鈴木油房を始め小寺油房といひ日滿豆粕會社といひ何れも經營難の爲に前途を悲觀しつゝあり其の悲觀說によれば

△油房業不振 の一因は歐洲戰爭に伴ふ海運界の不況にて豆粕輸出に種々の不利不便を來せる爲なるも之を外にして油房業が大連に於てするよりも內地に於てする方遙かに有利なる狀態となれる事が寧ろその不振の主たる原因なり蓋し勞銀廉き支那人を使用し得る爲め大連の方內地に比し豆粕一枚につき約一錢程安價なるも豆粕相場は內地の方却つて一枚約三錢高に販賣し得べく猶ほ內地にては需要に應じて供給を伸縮し得るの便あり海外輸出は豆油と共に直航の便あり金利も低廉なり而して原料は滿鐵より比較的安價の大豆を購入し得る等種々の利得ある爲め油房業は今日內地に於てする方その生產費遙かに廉なる狀態なり之を以て近來內地に油房業續出し大連の油房業は到底之れと競爭し能はざる位置に陷れり是れ大連油房業の不振となれる最大原因なり。

△北滿大豆の南下 は一昨年も昨年も引續き是ありしが油房業者をして言はしむれば其の南下大豆は日露戰後長春以北のものが僅に四萬噸餘り下りしに過ぎず是位の數量にては油房業に左しての裨益とならず日露協約による東淸鐵道南半線讓渡と共に北滿大豆の南下多かるべしとの希望をなす者もあるも東淸鐵道の競爭に依る浦港利用は今後益々盛んとなるべければ北滿大豆は寧ろ却つて浦鹽に向ふべく南下大豆ありとしても多くを期待すべからず斯る事に多望を懷くも詮なしと云ふにありて大連油房業者の悲觀は昨今殆んど絕頂に達し居るが如き觀あり然らば

△何等救濟策 是なきかと云へば必ずしも然らず其の救濟策の一として彼等の或者は油房トラストの必要を提唱し居るも未だ之れに應ずる者なし果して然るや否や疑問なるも結局一種のトラストを組織するの外なき結果となるべし猶ほ彼等の心底を叩けば昨今種々たる三線連絡運賃の實施と不實施とに拘らず滿鐵を救濟の主旨を以て能ふ限り低減せしめんと云ふに在りて既に內々請願をなせるやに聞く何れにもせよ大連の油房業は實際頗る不況にして昨今は例年通り鈴木油房の外皆休業し居るも前途を悲觀し居る爲め何となく氣迷ひの姿なり因みに

△浦港輸出大豆 は大正四年度において七百萬擔を越ね其內日本へ輸出されしもの二百十三萬擔即ち十二萬噸に達せるが之に反し大連より日本內地への大豆輸出は約九萬噸に過ぎず是又た油房業者が前途を悲觀する所以の資料なり北滿大豆が斯く多量に浦港より輸出せらるゝは全く東淸鐵道會社が低率の運賃にて輸出を獎勵するが爲にて油房業者は此點よりして滿鐵に運賃低減を希望し居る有樣なり（大連）

秋蠶亦豐作歟

今日までの經過極めて良好

△本年の秋蠶 は桑葉發育の關係上例年に比し四五日其の掃立期に遲延を見各道共七月末より之れを開始せしが昨今は既に終了したる筈なり然るに蠶種の發生は鮮內一般に互り極めて良好にして中には春蠶種以上の成績を示せるものあり近は當業者が秋蠶種の貯藏に熟達し來りたるも其の一因なるべきが本年は風穴又は氷庫へ貯藏以前に於ける

△冬季の氣候 が稀有の溫暖なりし爲め產卵に些の障碍を及ぼさゞりしと蠶種取り出し期即ち七月二十日前後の氣候が各地とも概して低溫なりしより蠶種の催靑に好適せしとを主因とす從來冬季の寒氣は蠶種に對して何等の影響なきを主張するものあれど斯の如きは未だ實驗者の見にして一般に低溫に至りては產卵上面白からざる障害を與ふるものなるを以て當業者は深甚の注意を拂ひ今後斯かる低溫に接せしめざらむことを期せざる可からず

△蠶兒發生後 の經過如何と云ふに近日來の報著には各地とも多少の苦痛を感じ居るものゝ如くなるも其の溫度は例年に比せば敢て高しといふ可からず殊に雨多かりし爲め桑葉の質を柔軟ならしめ適用の飼料を得るに容易なる關係上今日に至りては其の生育一般に良好なるものゝ如し從つて今後の天候順調なるを得ば本年は秋蠶に於ても亦近年珍らしき豐作を見るならむ

金剛山吟行

琅田 趙重應

○平康驛
驛可千峯千馬牧。紺如三防一夫關。江山如此無人守。那得箒愁一破顏。

○元山港
萬斛滄波萬里風。元山府上氣陵空。何由借得仙翁術。一瀉京城塵著中。

發行日景甫大笑多數士女之送別或於南門驛或於清涼里兩處以所我病快過返不勝其相愛之厚誼

別路東南驟雨中。都人士女集如蓬。寸心記感無相報。願賜元湖一陣風。

隨琅田趙大人東游金剛之行宿元山港有作仍寄無佛社長　荷亭　呂圭亨

積想金剛萬二千。欣隨壺鶴上溫泉。向禽作作疑偕隱。李郭同舟幸接仙。帆直要凌碧海。舵輪快似上青天。阿公佛眼遙相照。好把新篇廣遠傳。

日報俳壇

雉子郎選

夏

雷や門下で泣く子守と子　青扇
短夜や芝居戾りの茶漬飯　同
花柘榴に暮く日あり經終る　同
夕牡丹山鵲みてとがりけり　同
葉櫻に何滯留や繪師の戀　同
とぶ螢河畔に俥夫きころあり　同
瓜の花寺侍の一家かな　同
廢井に蒸すとて人や夏木立　同
葛水を啜すや六條御息所　同
香木に蚊火の驕りや連歌の師　同
水鷄啼くや月明らさり窗に風　同
夕顏や共奧暗き車寄　同
から腦と毛布爽や夏はじめ　同
箭や補宜に出入の爐來し　同
箭や音さして行く朴齒下駄　同
花莢女あるじのホテルかな　同
芥子の花散る山風に群雀　雉子郎

大阪期米特電（三日）

後場當限寄付十四圓二十六錢 △中限寄付十四圓七十九錢 △先限寄付十五圓十八錢

仁川米豆取引所

▲依然下遊る 前場手遊りの後[illegible]

▲後場の手振 [illegible]

▲現物界 [illegible]

三日の十月限 寄付 十三圓[illegible]

八月限 二萬五百五十石
九月限 三萬五千四百五十石
十月限 二萬二百五十石

銀行會社 官吏鐵道 員養成 講義錄
卒業者は各自希望通東京は勿論全國へ向に就職せしむ 速成四ヶ月卒業會費二圓八拾錢校則進呈 東京芝公園 大日本國民通信學校

最新刊 ペンなる手本 三浦浩東先生著 ▲定價三十五錢送料四錢
ペン習字の必要今日より急なるはなし本書は大家三浦先生の圓熟せる最近の書にして假名數字楷行草書とも網羅せるを以て何人も一本を座右に備ふべき現代人の必須の良書也 振東京四八五 香誠堂 取次 東京堂 上田屋 六合館 北隆館 日黑分店

太陽 八月號 定價三十五錢（郵稅三錢）
大辭職の眞相 無名隱士
獨逸新聞を通して觀たる戰時の獨逸
國際道德と道德
日露新協約と世界の平和 浮田博士
一人の女の手帳
本多日生
經濟會議の結果と將來
巴里經濟會議と我位置
日露新協約 五名家の
開戰前後に於ける白國外交文
最後通牒受領の一夜
文人と實業家の生活
光なき國（長篇小說）
信濃高原の一夜
タゴール翁の印象
鹽專賣止廢論（十五頁の長文） 鈴木教授
東京本町 博文館 振替二四番

京城專修學校教官 安達大壽計著 會話譯文速成
朝鮮總督府及各道官署必携
定價四十錢・送料六錢
本書は專ら朝鮮總督府及其他各試驗に應ぜんとする者の爲めに著述したるものにして受驗上必要なる朝鮮語の會話と譯語、譯文を網羅し、且各種試驗の筆記並に口頭の問題全部に就き模範的の解答を施せり。官途受驗者に對する絕好無二の良書なりと信ず。
發行元 京城本町一丁目 大阪屋號書店 振替京城二五七三番

日韓書房 新版報告
與謝野晶子著 新譯紫式部日記 新譯和泉式部日記
長田幹彥著 埋木
石雲錄
大隈健堂述 演說と座談
小宮豐隆著 待合ロマンス
京城南大門通二丁目 電話一四五 振替口座一一五

十番ウヰスキー（荷著） 京城本町 龜屋 電話（二十七）

◆日鮮人受驗者唯一の指針▼
朝鮮諸官廳受驗講義錄
國語、會話、作文、漢文、歷史、地理、算術、法學通論、行政法講義、現行朝鮮諸法規、各官衙學校試驗案內等朝鮮諸官廳受驗參考科目一切網羅シテ剩ス無シ七冊ニテ完結全部完成壹圓九拾錢送料十二錢全部ニアラザレバ不應來ル八月舉行セラル、日鮮人文官雇員試驗ノ唯一ノ指針ナリ
朝鮮京城旭町二丁目（朝鮮雜誌社內） 朝鮮文學會 電話一千二百五十番 振替貯金京城一一九二

サッポロ、エビス、ミュンヘン、アサヒビール
大正五年上半期第貳拾壹回決算報告

貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	四、四八〇、〇〇〇・〇〇〇
營業費勘定	五、貳八八、四參八・八九〇
興業費未決算勘定	參六五、六壹五・六七〇
材料品勘定	四四參、八五八・參參〇
半製品及製品勘定	四貳六、四五貳・六五〇
營業資勘定	貳壹六、九八四・〇貳〇
假拂金勘定	參貳、九貳〇・〇〇〇
受取手形勘定	[illegible]
有價證券	五參、八五〇・參六〇
銀行勘定	[illegible]
現金勘定	壹、壹六八、七四〇・八參〇
合計	[illegible]

負債之部

科目	金額
資本金	[illegible]
法定準備金	七〇〇、〇〇〇・〇〇〇
別途積立金	九〇〇、〇〇〇・〇〇〇
使用人退職手當基金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
諸預り金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
假受金勘定	[illegible]
營業借勘定	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

財產目錄
貸借對照表中資產之部ト同一ニ付略ス

利益金分配

科目	金額
當期利益金	六五五、四參六・〇參〇
前期繰越金	五貳九、〇四四・〇〇〇
合計	壹、壹八四、四八〇・〇參〇
法定準備金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
役員賞與金	參貳、〇七〇・〇〇〇
株主配當金（但年壹割貳分）	四五六、〇〇〇・〇〇〇
株主再配當金	壹五〇、四〇〇・〇〇〇
使用人退職手當基金（但年四分）	貳五、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越金	四七五、〇〇六・七九五

右之通候也
大正五年七月貳拾八日
大日本麥酒株式會社
取締役社長 馬越恭平
常務取締役 植村澄三郎
取締役男爵 大倉喜八郎
取締役 土居通夫
取締役 大橋新太郎
取締役 宅徳平
取締役 高杉晋
右審查候處相違無之候也
監查役 桂二郎
監查役 大川平三郎
監查役 武內常太郎

清涼飲料 リボンシトロン リボンラズベリー

寫眞 銅版、亞鉛版、凸版、寫眞版 京城日報社 寫眞製版部

京日案內
普通（一回前金三十錢）
番外（匿名一回前金六十錢）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通
雇入 年十六七歲の男店員數名入用希望者は至急來談あれ 新龍山三角地前電三二一 陸軍用達商 石見堂 580
◎製本 和洋帳簿及雜誌合本其他迅速可致期日正確價廉 長谷川町 中田普成社 電二一〇五 582
◎諸版下揮毫 迅速に且つ廉價を以て御需に應じ可申候 長谷川町 中田普成社 電二一〇五 581
生徒一ヶ月體量健全血統正しき男子を愛深き御方に周旋す 中川紹介所 電話一五五八番 677
店員入用 十四五歲より十五六歲迄の者希望者は當店へ來談あれ 京城旭町市場通 吉川商店 574
第二回支那語講習會 月十日より六ヶ月間毎日午後七時より 長谷川町五八 銀行集會所 同學社 571
▲ホネツギ▼うちみくじき治療 京城明治町 電話二五九五番 荒川仁壽堂 644
◎製絲工女募集 經驗ある者七名限り至急入用 京城東大門外 京城製絲所 561
◎松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す ▲光州自働車會社

番外
普通文官試驗講義錄 新學期開講 會員大募集 此際入會者に限り入會金全免其他の特典あり 京城觀水洞 日本大學法制學會支局 533
株 有利確實なる現株賣物あり ◎現物問屋 京城本町二丁目 田中友吉商店 579
勸業債券高價買入 並に月賦賣出 各種公債現物 京城府太平通二丁目 電話二八三 朝鮮商業銀行前 債券部 578
恩給年金 軍人恩給公債特別高價に買入 京城南大門外（蓬萊町） 山口屋 536
三三 岡村介石 明治町二丁目 フランス教會前 534
▼金融 月給取の御方様に秘密信用融通仕候 京城府漢江通り七番地の二二 仁木屋 585
理髮舘讓る 龍山に地家賃五圓 年一ヶ月收百圓內外有當地にて五ヶ年繼續營業中至急歸國に付讓る 姓名在社 565
△玄米乳 東京化學研究所 京城指定店 京城北米倉町 玄米製乳舍 電話一五四七番 562
鑛物分析 鑛山測量 技師に依り迅速 京城鐘路二ノ九九 金石商會 559
◎はねつき うちみくじき等一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 564
恩給年金 極秘低利長期即時 商品陳列館表門前 京城永樂町一丁目 江州屋本店 558

◎李王世子御婚儀期

李王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚約成立の事は既報の如くなるが兩殿下共目下御在學中なれば御婚儀擧行の事は兩殿下御卒業後行はせらるべき筈なり而して其の御式に就ては日本皇族御婚儀の如く賢所御前に於て行はせらるべきか今後宮內當局の研究す可き問題にして日韓併合並に朝鮮貴族に關する明治天皇の詔書に基き別に典儀を定め之に依り御擧行あらせらるゝやも測られずと(東京特電)

◎政局の推移
現狀維持ならん

山縣公上京し山公隈侯の會見あらば目下の政局に何等かの衝動を與ふべしと期待せられたるが二日行はれたる公侯會見は豫期されたる程の新現象を生ぜざりしも目下の政局をして此際當分小康を保たしめたるの感あり公侯會見の內容は明かに聞く所なきも多少政局の推移に觸れたることは事實にして表面は極めて簡單平和に意見の交換ありたるが如く時局の根本的解決の鍵は依然大隈侯の掌中にて弄され自然の順路を辿り其の落著するところに落ち著く事となるべき形勢にして寺內伯は四圍の情勢自己に不可なるを見て斷然引けざることに決したるものゝ如ければ政局は今後突發事件の生ぜざる限り現狀維持の儘推移すべし(東京特電)

◎政界諸星來往頻々

目下政界の形勢は大隈內閣の居据りを想像せしめ居るにも拘らず三日午前中に於ける元老の來往頻々たるは未だ全く政界に於ける低氣壓の去らざるを思はしむ即ち三日午前八時四十分西園寺侯は山縣公を椿山莊に訪問し會談一時間にして辭去し次で松方侯又山縣公を訪問し十一時三十分辭去せり尙午前十時參內天皇陛下に拜謁仰付られたる大山公は宮中退出後直に自動車を驅て山縣公を訪問し僅々五分間の會談後同邸を辭去したるが大山公の訪問は何等か聖旨を傳達したるものゝ如く最も注目に値す(東京特電)

◎唐紹儀就職承諾

唐紹儀氏は張繼氏が北京に赴ける際黎總統に對する書面を托し其の北上を就職承諾の意を致せり二日其の書面當地にて公表せられたり(上海特電)

◎奉天省の戒嚴令

蒙匪討伐軍は突泉縣回復後猶も蒙匪を追擊せるが而も蒙匪軍は出沒常なく官軍は大に惱まされつゝあり張督軍は部下をして新民府より東南に向はせたるが暑氣の爲め進軍困難を極め居れり目下宗社黨多數奉天に入り込み省內は戒嚴令を布けり(奉天特電)

◎議員資格改定電請

張動より國會に電報を發し議員の資格を新たに定め議員の俸給を減少すべしと申し來れり(北京特電)

◎奉天省對鮮銀借款

奉天省と朝鮮銀行との第二回借款二百萬圓は一日夜調印さる條件は第一回同樣にて受渡は一週間後なり之れが用途は銀行の救濟にあり(奉天特電)

◎獨食糧品輸送拒絶

[illegible]

◎獨艇出港

[illegible]

……部にかける檢米成績を見るに總移出……上格四千……百八十七叺下格二萬……[illegible]……全部へ輸送されたり……[illegible]

◎旭日將に昇らんとす
聯軍軍の優勢既に明かとなる

巴里來電に據れば佛國大統領ポアンカレー氏は佛國の諸團體に教書を下して曰く聯合軍は今日漸く諸事の困苦が生める果實を採收せんとしつゝあり露軍は敗走せる墺軍を追跡するに忙はしく獨軍は又東西方面の戰場に於て猛烈なる攻擊を受け其豫備隊を消滅せんとせり今日は宛も一天將に晴れんとし旭日昇らんとするの時なり吾人は猶戰はざるべからず而も聯合軍の優勢は既に明かとなれり(倫敦電報)

◎獨逸宰相擁護運動

伯林電報に曰く八月一日全獨逸に亙りて媾和に關する獨逸宰相擁護大運動(獨逸宰相の戰爭及び媾和に關する政見を[illegible]的に失すと爲す强硬論を抑壓し以て國論の統一を圖らんとする運動)開始せられ知名の士五十名は全國五十の土地に於て同時に同要旨の演說を爲せり(紐育電報)

◎獨逸宰相更迭說

獨逸宰相ベートマン、ホルウイッヒ氏辭職してビユーロー公後任たるべしとの說ありとの報あり(東京電報)

◎工場法施行期

二日の閣議に於て七月二十六日の樞密院會議に御諮詢決定せし工場法施行令は愈々三日の官報を以て公布九月一日より施行のことに決せり(東京特電)

◎論功と下院議員

衆議院議員にして日獨戰爭論功行賞中勳一等に敍し旭日大綬章を授けらるゝは前議長奥繁三郎氏及び島田三郎氏なりと(東京電報)

◎寺內伯邸の訪客

三日寺內伯邸には仙波第一師團長、一戸大將、後藤新平男、石黑忠悳男等の訪問ありたり(東京特電)

◎立花師團長

立花師團長は二日夜新義州著三日守備隊を巡視し同夜鐵道ホテルに於ける官民有志者の歡迎會に臨み四日朝義州へ向ふ筈(安東縣特電)

◎借款と金建貨幣

六月中旬奉天省對朝鮮銀行第一次借款百萬圓成立の際は別約として其後同省公金乃ち租稅等に金券取扱ひを行はしむる事となしたるが今回第二回借款の成立に就ては別に改めて前段の如き取極めなきも無論第一次借款當時の取り極めは特殊事情の生せざる限り將來に向つて効力あるものに付今後も何等金本位貨幣の公金收授上に故障ある筈なく更に斯く多額の借款成立せしは益々滿洲に於ける吾が通貨流通區域の擴大を來すべしと云ふ

◎關稅通路の効用

六月十一日より總督府にて元山停車場構內に稅關出張所を設置し同驛構內を保稅地域とせし結果京元線が關稅通路となりたる爲め以來包裝小包にして逆送に急を要する食料品及び諸雜貨等の山東省方面より浦鹽に向ふもの漸次增加の模樣ありしが此外國より外國に向ふ貨物の朝鮮橫斷は實に關稅通路形成後初めての事實なるが今後事情の了解せらるゝに伴ひ漸次增加し來るべく先月も七十五噸の積まれる食料品芝罘より浦鹽に送られたる由

◎金融部の刷新 (東拓)

東洋拓殖會社金融部の近況を聞くに同部にては近來頻々事業上の刷新を計りつゝありしが今回更に借入手續を簡易ならしめ又た金融方法を改良する等幾多刷新の途を講じ之れと共に地方に於て其の實行上に遺憾なきを期せんが爲め出張所に對して本社より金融部員を轉勤せしむることゝなりしが榮山浦、砂里院、江景の三出張所には三日其れ〲本社員を轉勤せしめたり

◎苦力需要旺盛

例年山東省方面の支那苦力が露領浦鹽に出稼ぎする時期は五月前後に往き八月末頃より追々歸國するを常とするに本年は露西亞にても戰亂の關係上人夫の必要非常の數に上り或は歐露の軍役夫に苦力の一部を使用する模樣もあり勞働者の需要今日に於ても尙ほ絶えず朝鮮郵船會社北支那航路に便乘し仁川に上陸京元線を橫斷して浦鹽に向ふ者最近每航便五十人乃至百人內外に達し居れるが狀勢斯くの如く秋苦力の歸國期は延期するやも圖られず又歸國者少なかるべしと云ふ

◎金融組合員の資格に就て
理財課長 入江海平氏談

從來地方金融組合にて組合員を加入せしむる場合往々

▲規程の解釋 を嚴格にし過ぎる嫌の點なきにあらずよつて今回荒井長官より『金融組合員の資格』に關する通牒を各道長官に發し組合をして適從する所を明かにしたり乃ち金融組合令に『農業に從事し』とあるを文字通りに解釋せし結果金融組合によりては農業に從ひ又は漁業を兼業する者は組合員たるの資格なきものとして之れを除外し或は組合員には中小農民に非ざれば加入の資格なきものとし大農の部類に屬するものは全然組合員たるに適せずと解し之れを脫退せしめたる等の事ありしなるも抑も地方金融組合の組合員を純然たる中小農民の階級より選ぶ事は組合の組織上理想とする所なるも朝鮮農村の現狀に於ては農家の發達未だ十分ならざるものあり從つて農民は其の農閑期を利用して地方的商工業又は漁業等を兼營し一家生計の資を得るの餘儀なきもの少なからず之等を組合員たる資格なきものとして除外するに於ては

▲農村經濟の發展 を圖らしむべき組合の目的の一部を沒却するに至るべく又比較的大規模の農業に從事する者の內には組合の中堅として其の役員となり或は組合資金の充實を期する爲め預け金をなさしむる等組合業務の遂行に相當盡力せしむべき必要の者もあり且つ地方產業の開發上此等の者に對し農業材料の共同購入生產物の委託販賣等に付ほ組合の指導斡旋を要する者少なからざるべく其他農工資金普及の爲め農銀貸附金の代理又は媒介をなす等に於て之れを

▲組合に加入 せしめ置く事有利にして要は只組合員の大部分を此の種の農民に求めて之れに多額の貸附を爲し其の結果小農民に對する金融の途を杜絶ずるが如き事無き樣防止する事を緊要とするに外ならざれば爾今組合に於て組合員を選擇するに當りても克く這般の事情を斟酌して苟くも農業に從事するものは自餘の資格條件に於て缺ぐる所なき限り成るべく之れを組合に加入せしめ以て組合員の增加を圖り業務の繁盛を企圖されたしと云ふにあり尙目下組合員は平均二百名內外なるが之を五百名位に增加せしめたき考へなり

敍正五位(各通) 總督府參事官 正六位勳四等 永谷隆志
敍從五位 遞信局技師 從六位勳五等 花野彥三
敍正六位 總督府參事官 丁奎鳳
同 勳七等 林和一
同 寺島才二郎
敍正八位(各通)
敍正八位(各通) 安慶善 朴喜鄕 張晋根 韓國鍾 朴光烈 鄭儀源 孫英 劉森喬 貝遊祿 洪證私

◎敍任辭令

鐵道局理事 從六位勳四等 三本武重
同技師 從五位勳五等 三宅鏗吉

◎生絲第六回輸出

京畿道恩明製絲場の生絲輸出は三日第六回分として五百餘斤を輸出することゝなり三井物產の手を經て派出を行びたるが之を以て同場產昨年度分の生絲は全部輸出を終りたるものにて殊に三千斤の多きに達したり次回よりは本年春蠶生絲の輸出を行ふ筈にて回を重ぬる每に製品の好評を博し居れりと

◎北鮮牛敦賀移入

北鮮牛の敦賀移入は曩に第一回を試みられしも肉牛としての移入なりしを以て活牛としての移入を主務者に請願中なりしが今回農商務省令を以て八月一日より活牛の移入を爲し得る事に規則を改正せられたれば北鮮牛移出上好都合となれり尤も船腹缺乏且つ北鮮牛價高騰の今日當分の中之が移出は困難ならんか

◎金剛山行客と朝郵

六月以來金剛山行き旅客の便利を圖る爲め朝鮮郵船會社にては元山長箭間の船賃に大割引をなし居れるが七月中旬頃より金剛山行き旅客は一船便四五人位宛あり之を昨年に比すれば探勝者著しく增し居れりと

◎羅國、聯合國密約說

最近羅馬尼國と聯合國側との間に密約締結されたりとの說あり聯合國側にては羅馬尼國に兵器其の他の軍需品を供給し羅馬尼にては之れを以て聯合國側に加擔して戰爭に參加すべしと而して獨墺側は右締結を破壞せんとし目下必死となりて運動を試みつゝありと(東京特電某所著)

◎開戰二年と獨帝詔勅

獨帝は開戰二週年に際し陸海軍及び宰相に詔勅を發し獨探の勇敢なる努力を感謝し且最後の勝利が獨軍の上にあるを說き今後の奮鬪を激勵したり(紐育電報)

◎開戰以來の損失軍艦

獨逸海軍省は開戰以來去る六月末日迄に聯合軍側軍艦の損失四十九隻五十六萬二千噸獨墺軍側三十隻十六萬二千噸なりと發表せり(紐育電報)

人事消息

▲大湯正男氏(東北帝國大學工科大學講師)三日夜入京天眞樓へ
▲中井國太郞氏(滿洲製粉重役)入京中の處三日夜退京
▲片山逸氏(上海同文書院教授)三日夜入京[illegible]旅館へ

■南言北語■

云ふまじと思へど今日の暑さ哉は頗る以て平凡だが實際暑くなつて▲河には大小河童陸には大小の茶目共が暑氣と鬪つて茶目式を發揮しつゝあるのも夏の景趣の一つだ▲龍山では先達九十何度の酷熱中に炎天演習をやつたので將卒何れも顏色が暗黑色となつて歸つたから頭を出して居ても土塊だか何だか分らぬ程だ▲其演習から歸つた大島少將など平生の黑い顏が御鄉里にも濃くて拭き入れた樣▲一日少將が床屋に行て顏を剃らして居ると床屋の主人が剃かけた手を止めて不思議想に凝視て居る▲少將がオイ何だと云ふと床屋はクス〲笑ひ出して『閣下其れでも皺の奧だけは白いから感心なもんですね』は好かつた▲過般衆議院議員の連中が第二艦隊の演習見學に招かれた時▲海上生活は造做なく吞み込んだが司令官や艦長が陸上で何れ丈け持てるか研究しやうではないかと妙な緊急動議を持ち出した者があつた▲茶目にかけては人後に落ちぬ面々其れ好からうと直に可決確定▲其處で浴衣に著替へて水雷艇で陸上に送られたのは第二艦隊司令長官八代提督と名乘つた武藤金吉君▲次いで岡崎久次郎、岩本平藏、滿谷太郎、樋口龍峽君等の面々は皆各艦長と澄し込む▲早速旅館に入るや武藤君キツと見得を切つて『艦長ッ』とやる▲長官閣下何御用で御座りますなんて吹き出し相なのをヤツと奥齒に噛み殺して眞面目腐ると▲斯とは知らぬ旅館では不意の珍客に恐惶し平身低頭イヤモウ大持てで翌朝歸艦して君之は大秘密よはやりもやつたり大茶目の發揮振り

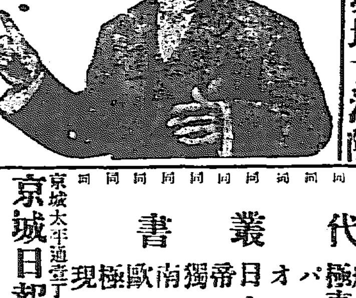
廣告

商業登記公告

株式會社十八銀行監查役高見和平、山田又三郞、藤瀨宗一郞ハ任期滿了ノ處各大正五年七月貳拾日重任シタリ
右大正五年七月貳拾八日登記
京城地方法院

惡筆は永久の大損ニグスー上手になる

特許 惡筆矯正器 無代進呈



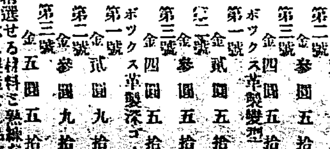
字の下手な爲めに受くる月々の損失を一生涯に見積れば實に莫大であります。今回大發明の特許惡筆矯正器はどんな惡筆の筆蹟でも先生の手本通りに機械的に上手に書けること保證す。此際に限り無代進呈す。見本は東京本郷區大學正門前帝國習字速成學會(電下谷三貳一〇番)へハガキで申込めば無代進呈する。

洋服毛織物保存法

◎洋服及び毛織物御保存なさるゝには(ドライクリーニング)なさるが御安心です
◎ドライクリーニングとは一滴の水を用ひず毛織仕立物は勿論綿入たる物にても仕立の儘如何なる汚れも美麗になるのであります
一、仕立たる儘少しも形の崩れぬ事
二、地質を損せず變色伸縮せぬ事
三、殺菌消毒には是れより以上の良法なき事
四、羽根毛皮毛布敷物類馬車自動車の中張如何なる大小の物にても出來ない事なき事外に皮手袋、パナマ帽子洗濯致し候
◎右クリーニング部新設致候間多少に係はらず御用命の程奉願上候
市內は電話又は葉書で御通知次第早速參上御用命に應じ可申候
京城本町一丁目(府廳横) 菱川洋服店 クリーニング部 電話一三五三番

信用ある東京三金の特賣

ガスクツ製 長靴
長サ一尺三寸 金四圓八拾錢
長サ一尺五寸 金五圓五拾錢



ボックス革製編上 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般貴用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇番 振替東京一七一三〇番
最新目錄無代進呈

大阪屋號書店

京城本町電話二〇八六 振替京城二五七三

◎英文みだれ草 販山 一、〇〇
◎朝鮮風俗集 今村鞆 一、八〇
◎朝鮮人の衣食住 村上唯吉 二五
◎ペン習字手本 三浦清泉 三五
◎實用ペン習字帖 黑柳勳 二〇
◎新式園藝寶典 鈴木鎌次郎 各七〇
◎園藝定石講話 同 五〇

新刊書御案內

◎校定源氏物語詳解 一、〇〇
◎朝鮮會話辭典 四〇
◎朝鮮之金鑛 和田雄治 一、〇〇
◎鐵道旅行案內 鐵道院 一、〇〇
◎世間學 浪六 一、九五
◎海の趣味 若林海軍中佐 一、二〇
◎海のロマンス 米窪太刀雄 一、三〇
◎維新二千五百年史 八〇
◎心身修養 高木 八〇
◎歐米名家處世方針 八五
◎日本債權人有斐錄 一、〇〇
◎母と子 下田歌子 七五
◎趣味を求めて 黑田鵬心 六〇
◎薄雪双紙 久保田萬太郎 八五
◎男讀むべからず 丹いね子 七五

京城太平通壹丁目 京城日報社代理部

◎書籍案內

伊達源一郎編 現代叢書
近代文學 / ベルグソン / 新支那 / 現代歐洲 / 航空機 / 極東のロシア / パナマ / オイケン / 日本憲政史 / 帝國國防 / 獨逸皇帝 / 南洋 / 歐洲大戰 / 極東の外交 / 現代米國

●經濟戰の中心
長江筋 —1—
獨逸失墜し英國力を弛め米國將に力を致さんとす
上海伊藤商行主 伊藤源七氏談

上海英租界北蘇州路卅一號に店舗を張り長江筋の奥地に對し英米人と轡を竝べて國際的經濟戰に〆和男子の熱血を示してゐる伊藤商行主伊藤源七氏は頃日入京、永樂町二丁目の支店に滯在中であるが一日長江筋に於る狀況を語る—

回長江筋は 何と言つても支那四百餘州中第一の富源で北京が政治上の中心であれば長江筋は經濟上の中心である歐洲戰爭前迄は英國を筆頭として次位に獨逸が在り日本の勢力は漸く

回第三位に 相當してゐたが戰雲一度西歐の天地に渦巻いてより既に二年、其間青島の戰爭ありて獨逸の東洋に於ける勢力は根こそぎとされ爲めに長江筋に於ける活動も殆ど

回休止の姿 と成り其後株は英國が繼承する傾が見えたが流石の大英國すら此大戰爭を控へては力を極東に傾注する譯に行かず勢ひ長江筋の商戰の手も稍や緩かになつたと稱すべきであらう。茲に於て力を致すべきは

回正に日本 でなければならない事と成つて來た。然し英獨の勢力は元より一朝にして消失する樣な根帶淺きものでは無い殊に例へば染料の如き化學工業の幼稚な日本などは殆んど獨逸に匹敵し得ない此種のものが澤山ある爲めに依然として獨逸の勢力は殘つては居る然も果して戰後に於て獨逸のみならず

回歐米列强 が支那に對して如何なる大活動を開始すべきか、と論じ來れば日本たるもの殊に安閑として居られなくなつて來る殊に注目すべきは米國の將來である今日にしても例へばスタンダード石油の如き或は英米トラストの如き

回却々牢乎 たる勢力がある昨年あたりから思ふが長江筋から北支那方面に掛けて米國の觀光團が頻りに往來する事實がある最初は別に注意もしなかつたが其度數の加はるに隨つて次第に注意させられる樣に成つたが是等の米人が支那に於ける事業に就いて甚大の注目を拂ひつゝある事は

回日本人と して看過すべからざるものがある米國は今次の戰爭によつて利得した金額は恐らく世界に冠たるものがあるであらう然して其鉅億の資金は其放出に困惑してゐる位であるからして現在及び將來に於ける問題たる

回支那に對 して見込さへ立てば若干でも支出するに至るや言ふ迄も無い然も米國の資本は歐洲戰爭の終結に關せずして侵入し來るであらう否寧ろ西歐諸國が戰爭の爲に手を控へさせられてゐる隙に乘じて盛に

回共辣腕を 振ふに至るであらう。此場合に於て我が日本の經濟的勢力は如何に之を眺めてゐるであらうか、蓋し思ひ半に過ぎないもの、ある事は秘に默せざるを得ない

□兩宮殿下御航空

航空に多大の御趣味を有せらるゝ朝香宮鳩彦王東久邇宮稔彦王兩大尉宮殿下には三日所澤航空大隊より御迎への自動車に召され谷田陸軍省工兵課長及び御附武官を隨へさせられ午前八時所澤へ御成り遊ばされ中澤、岡部兩中尉の飛行を御覽あらせられ次で朝香宮殿下には中田中尉を操縱者としてモ式十號機に御搭乘あらせられ九時半機は利岡森林上所澤町の上空に於り三百米突の高度を保ちつゝ五分間の御快翔を行はせられ無事御着陸あり續て東久邇宮殿下にもいと御活潑に同機へ御搭乘前同樣の御路を十分間御快翔ありて何等御恙なく御着陸あらせられたり（東京特電）

●談合事件

三日第一回公判開廷

先般來喧傳せられたる京釜線鐵道工事請負人不正事件は愈々三日大邱地方法院に於て公判開廷せり、事件の內容を聞くに小林長兵衛外九名は京釜線若木新洞間改良工事、大邱間改良工事の各入札に際し其の入札金高を談合して鐵道局より金錢を詐取したりといふにあり當日檢事の公訴提起に次いで各被告の訊問に移り正午一旦休憩し午後再び開廷公判を續行せり、而して午前中の訊問に於て各被告が談合金の分配に就て自白するところに依れば第一回請負金十萬三千圓此の談合金二萬三千五百圓を八人にて分配し第二回請負金十二萬四千九百五十圓此の談合金二萬二千五百圓を九人にて分配し各自費消せりと

●千八百戸燒失

二日函館旭町の大火

二日午後三時三十分函館旭町より出火し折柄東南の風激しく旭、東雲、若松、鶴岡、地藏、惠比、眞砂の各町を燒き拂ひ全燒約千八百戸に及べり損害は目下取調中なり（東京特電）

●下士の單獨飛行

去る二月下旬より飛行練習を許されたる上野、寺田兩海軍兵曹は各教官に就き熱心練習の結果愈々其の技熟し二日單獨飛行を許され上野兵曹は三日午前十時十六分イの四號に單獨搭乘し五百米突の高度を以て約十三分間近海飛行を爲し無事著陸次で寺田兵曹は同じく單獨搭乘五百米突の高度を保ち約十二分にして著陸せるが下士の單獨飛行は今回が最初にて何れも好成績を收めたり（東京特電）

●廿五萬圓事件

注目に値すべき新判例

斗六精糖株式會社を併合したる東洋精糖株式會社と紅葉屋銀行外十銀行間に於ける僞造株券授受二十五萬圓責任問題は第一二審共銀行側の勝訴に歸し會社側より大審院に上告中なりしが去る三十一日同院に於て前判決を破毀し會社に勝訴の判決を與へたるが此判決は銀行會社は勿論有價證券取扱業等一般實業家の大に注目に値ひする新判例となれり、事件の擔任者たる辯護士岡崎正也氏に其要旨を聞くに曰く「問題は株式會社の株式事務を擔任せる使用人が其會社の株券を僞造し、之を流通して第三者に損害を生じたる時は之に對し當該會社及び取締役に賠償責任ありや否やの點に在りて第一二審に於ては民法第七百十五條「或事業の爲め他人を使用する者は被用者が其事業の執行に付き第三者に加へたる損害を賠償する責に任ず」云々の規定を適用したるは不當なりと認めたるものなりと（東京）

◇女優志願者鄭彩珠

〔連れ來の名前先づは右の如く御報告申上候〕

回幕夜秘やかに三笠の老爺を訪ねての素性を探つた紳士が現はれたけど結局は不明に終つた——二人は昨朝も漢陽公園に姿を見せなかつた——今は止むを得ぬ二人の男女の素性を記して此物語の結末を著ける事にしやう。

回女は鄭彩珠と言つて年齡二十四、女優を志願の者である、男は李基世と云つて當世朝鮮に於ける第一流の新派俳優、女は男に就て頻りに藝道にいそしんでゐるのだと云ふ。

回彩珠は平壤の生れ、美人系を引いたが因果か約束通り妓生となつた。間も無く落籍されて京城に圍はれたが何かの事情で其男とも別れてからは熟々浮世の紛糾に飽き果て、色と戀とを超越したいと願つたが去りとて鬢髮剃つるにも忍びない。兎も思ひ惱んだ擧句彼女の心は有髮の尼と化つて女優と成り人の世の繋き葛藤を演出して觀客に熱き涙を絞り出させ其處に生きやうと決心したの

回夫れには當代第一流の名優をと物色の末李基世に師事する事となつたが李基世は日本婦人を內緣の妻として居る程の通れなハイカラで目下藝星座の座長として女優の養成に努めて居る處である。

回日本語をよくし漢籍の心得あり筆を執れば蘭蕭生色を湧かしむる底の彩珠は最も有望な女優の一人として志願者中の白眉と師匠に愛されてゐる。さればこそ一緒に朝の散歩にも伴はれたのであらう

回彩珠は妓生時代の名で外妓時代には孝郷と言つたが更に彩珠の名で女優生活に入らんとしてゐる。二人の兄は鍾路通りに店舗を持ち母は平壤に在り——是れ丈けあれば正に報告は上乘と心得る。然し尙詳しい事が知りたければ水下町幅生旅館を御訪問あつて然るべしである因に二人の散歩は一昨日から暮方になつた相だ

●二兇賊捕はる

京畿道黃州郡中倍面五條里居住日稼金一福（三二）同郡東部面新長里居住農金英根（三七）の兩名は明治四十三年一月中旬頃洪秉善（三七）李仁壽の兩名が强盗殺人をなし其の發覺を恐れ共犯者なる廣州郡東部面鵬林金春西を生かし置けば不安なるを以て同人を殺害せんとしたる際其事情を兩名に打明けて協力方を求め同面新長里の池畔に於て洪秉善、李仁壽の兩名は春西を誘ひ出して荒繩を以て手足を縛り上げたる上大石を結びつけて池中に投り込みて殺害し前記兩名は春西の逃走を防ぐ爲め見張りをなしゐたるものにして尙ほ金一福、金英根兩名共謀の上四十四年中廣州郡東部面下山谷里俞鎭澤方外三箇所に侵入し何れも家人を荒繩にて縛したる上金品を强奪し其後何食はぬ風を裝ひ數年間各所を流浪して姿を晦ましゐたるも遂に廣州憲兵分遣所の手に檢擧せられ此程京城地方法院の公判に附せられたり

●奉天附近豪雨

滿洲殊に奉天附近は一般に旱魃なりしが二日夜來豪雨到り農民は愁眉を開きつゝあり（奉天特電）

●水田中で格鬪

慶北奉化郡榮州面鄭孝淳（三）は財産家にして世事に通曉し同郡法田面法田里姜起元（三）は同人方に出入して二年十一月頃より同人方に出入して遂に信用を得たるを以て本年五月中兩名共同にて金貸業を始めんと說き遂に資金を他より借入るゝことゝなり起元所有の畓十三斗落、畑三十斗落、朝鮮式瓦葺二棟（四十六間）同上合計時價二千三百圓を抵當として借用證及び委任狀を拵へ同面法田里の姜珠元より現金一千百圓を借入れ起元には四百圓を交付したるのみにて殘金七百圓は悉く橫領して言を左右に託し支拂はざるより論爭となり此程起元所有の水田の中にて兩名が格鬪中を折柄通り蒐りたる憲兵分隊の憲兵が取鎭め右の事情を探知して孝淳を引致したり

●小兒二名を浚ふ

近頃慶北各地にては豹の出沒夥しく警務官憲は極力是が豫防に奔走しつゝあるが去る三十日午前一時頃慶北善山郡舞尾面飛山洞に於て黃萬玉（二）が表戸を開けし儘家族と共に眠りゐたるを豹に拉し去られたれば大騷ぎとなり附近洞民の援助を求め搜索したるに翌午前八時頃被害者宅より約八町を距る山林に屍體を發見し又去る二十七日午前二時頃慶北漆谷郡若木面椒洞に於て李允先（三）なるもの室を開放して父母兄弟六名と一室に臥しゐたるに豹の爲め拉し去られ大搜索の結果居宅より南方四十町を距る水田の畔に死亡しゐたるを發見せり附近には豹の足跡點々存在せりと

●豺狩

平南大同郡龍淵面陽池里地方には昨年末頃よりスクテ出沒するを以て里民は警戒中なりしが昨今繁殖して其の數を增し陽池里及び檢浦里にて養豚三頭を喰へ去り尙ほ家畜を狙ひて人里近く姿を現はすより里民は其の驅除方法考慮中南井里後方の山中に棲息せる形跡あるを發見し此の程里民總出にて山狩りを爲せしも一疋をも狩出すに至らざりしと

●母子四人轢死

宮城縣黑川郡富谷村農曾津正作の妻ふぢ（三八）は十六歳になる長女その十二歳の次女かつ代および五歳の長男正松の三子を伴ひ去月三十一日午前二時宮城郡利府村地內鐵道線路に枕を並べて母子四人共無慘の轢死を遂げたり原因は生計向不如意の餘り寧そ死んで生活の苦痛を免れんと心弱き思案を定めしなりと（東京）

●鮮銀紙幣摸造

平北雲山郡東新面上日里李斗榮（二）李壬滿（三）の兩名は大正四年十一月より朝鮮銀行券の十圓紙幣を摸造し同面龍浦里金龍雲に對し金塊購入資金として數枚を交付したる爲め發覺し七月二十日兩名は北鎭警察署に引致されたり

●實妹を賣る

忠北原州郡富論面興湖里生れ當時京畿道驪州郡康川面釜坪里居住農李萬昌（三七）は實妹李福壽が大正三年舊十月中忠北忠州郡嚴政面栗陵里李龍九の妻となり同棲し居れるを誘ひ出して賣り飛さんと企て同年舊二月十一日頃李龍九方に至り久しく不在なりし實母が歸宅して妹に逢ひたしと申居るに依り一先づ歸家すべしと欺き李福壽を連出し李主鳳金致賢等の仲介に依り同女を驪州郡州內面上里孫福龍に賣渡し代金二十圓を領得したること發覺して遂に檢擧せられ此程京城地方法院の公判に附せられたり

●盜んで逃げ歸る

京城清進洞居孫昌順（二七）は昨年十二月中仁川仲町九山組の仲仕帳場に挽子として從事中同組なる棚求學の周衣其他を窃取し京城に逃げ歸りゐたる所を八月一日本町署に引致さる

●角一タイヤ賣出し

京城南大門通角一商店に於ては[illegible]タイヤ賣出しのスパル、マキタ[illegible]の三フイヤは朝鮮に於ける[illegible]の良好にして製品の[illegible]一千圓以上其賣出期間は七月より十一月迄の五箇月間なりと

▲壽座の男女劇

[illegible]數年前まで東京二等座に立[illegible]、固つても[illegible]一部の[illegible]

讀者文藝（一等には五十錢の金券を呈す）

△狂歌題『煙草』

裏店の軒近ふ娘り溝に行く世は粉煙草のせち辛き哉（一等）　太田　寶谷　兵一
▲醫師者の吸付煙草一服で家も屋敷も煙にしてける　海南　大羊
▲立ひざで亭主を尻に敷島の煙草を吹かす阿嬶　龍山　小草子
▲金山が遂に朝日に變りけり今度出世すればヘルメツトか　南　雪陽生
▲金口を片手に下手の長談義呑まぬ煙草の煙に卷かれ　深川　緋鯉
▲夏の夜や短か煙管の首懸り　釜山　靜枝

俗謠題『旅』	締切三日	發表五日
川柳題『直似』	同四日	同六日
物は付『若しいものは』	同五日	同七日
一口噺題『嫉』	同六日	同八日
都々逸題『西瓜と掛けて』	同八日	同十日
大田狂歌『竹』	同九日	同十一日

謹告
今般其筋の嚴命に依り京城府內在住の葬儀請負業者は從來の惡風を一掃する爲め絶對に葬具の注文受けに訪問する事を堅く嚴禁致され犯したる者は京本警保發第六三二號に依り處罰せらるゝ事に相成候に付御用の節は電話又は御使を以て御一報被下候はゞ直ちに參上御便利に御取斗可申上候　敬具
大正五年七月三十一日
京城旭町二丁目（府廳東側）
株式會社 京城葬儀社
電話一五六七番・九五七番
二川屋 井上芳太郎
中河原重吉

謹告
今回其筋ヨリ同業者一般ヘノ命令ニ從ヒ葬儀ハ御通知ニヨリ御伺ヒ申スコトニ相成リ日來ノ希望トモ相副ヒ候ニ付御用ノ砌ハ電話又ハ便宜ノ方法ニヨリ直接御一報相成度親切丁寧ハ本社ノ主旨ニシテ供花ノ如キハ他ニ比類ナキ特殊ノ利便有之候ニ付御用命ノ程只管奉懇願候
永樂町 大葬社
電話一〇五六番

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 醫學士 松下三郎
電話六一三番

製氷界の親玉
各病院御用達
朝鮮製氷社
京城漢江通
長電話五二二番
◎衛生的經濟的 冷藏函及冷氷 販賣
◎我が製氷社製氷は天然氷より長時間保存に耐ゆるは實地試驗の結果證明する處なり

恩給年金
一般退隱料
特別月利 特立壹圓
大阪道頓堀大黑橋北詰 湊屋兩替店
京城南山町本願寺下 湊屋代理店

安くて皮より强い
專賣 銅線織 柳製鞄（二尺五寸、二尺四寸、二尺三寸、二尺二寸、二尺、一尺八寸、一尺六寸）
東京製鞄其他 旅行用具一切 販賣
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

…條件は實行不可能なりと述べ且つ曰く此の問題に關し更に交渉を爲すは無用なりポーランド今年の農作は豐年の見込なれば多量の救濟は恐らく必要なからんと（倫敦電報）

●仁川檢米成績 七月十六日以降同三十一日に至る仁川米穀檢査は[illegible]叺にして差引四萬一千二百[illegible]叺は合格の査定を見しが今之を種類別すれば優等一萬一千三百三十三[illegible]にして包裝の不完全なるもの五百五[illegible]は玄米大阪へ四萬五百九十七叺[illegible]へ六百八十七叺を中白米は全部大連[illegible]年一月以降七月十五日に至る期間內[illegible]二萬九千七百八十九圓五十六錢なり[illegible]

●仁川驛七月成績 仁川驛に於ける七月中の成績を聞くに乘車人員三千[illegible]七十四百人降車人員二千九百六十二

●天氣豫報追報 曇り但し小雨

女鵙

渡邊默禪

【六四】天狗へ嘆願

源作は眞面目に斯う語つた。

朝日嶽の杜字の瀧から少し離れた谷間にお龍堂がある。風雪を凌ぐだけの庵末な板小舍であるけれども、爐が仕切つてあつて煮炊も能きれば蓙や薪、古鍋などもそなへてある。彼は登山すると其處に入つて水垢離をとり、一心不亂に經文を誦んで天狗に祈念をさゝげた。實は態々の事情で東京の華族が熊狩にやつて來て、そして自分に案内を頼んだ。で、自分は正月まで山の殺生をする譯にはゆかぬと固く斷つたが、義理に詰つて據所なく引受けなければならぬやうな破滅になつた。無理なお願ひではあるが、どうか殺生を許して貰ひたい。その代りに貴君のお望みがあれば、どんなことでも叶へて上げますから、と斯ういふ談判を開いた。と、天狗はそれは不可ん。永年俺の世話になつてゐながら、恩に狎れてそんな濟けたことを引承ける奴があるか。今はちやうど俺が大事な修行時、小鵜一羽殺されても修法の妨げになるのに、大仕掛な熊狩などを始められて堪るものか、俺の眼中には華族も大臣もない、早々に追はらつて了へ、と恐ろしい見脈だつた。どうか爾う被仰らずに、此度だけは源作を助けたと思つて無理を聞いて下さい。いや肯かれぬ、と押問答をしてゐるうちに、天狗は急に目を瞋らせて、源作いよ/\駄目だぞ、その華族とかいふ連中の者が、今山の麓で盛んに殺生をしてゐる。不都合な奴だ、明日と經たせず今夜のうちに乾と思ひ知らせるぞと怒鳴つて影を消したきり再び出て來なかつた。忽ち山が荒れて凄じい騷動を聞いた。源作は肝も縮む思ひがして、今にも堂もろとも吹飛されて了うかと怖なしてゐた。そのうちに嵐がぴたと歇んだが、失望を土産に空しく下山しようとしたが、叶はぬまでも最う一度縋つて見ようと氣を勵まして、此上は私の命を差上げます。男たる者があれほど確かな約束をして置きながら、今さら破談だとはどの口でいはれませう。破談をするとなれば彼等の前に鍾腹切つて死なねばなりません。どつちにしても死ぬ體なら、お龍さまに差上げた方が優しだ。さあ命を奪れ、命を奪れと迫り立てた。と、天狗もこう/\根負がしたものと見えそれほどまでに思ひ込んだのなら仕方がない。正直一途の汝の精神を買つて猟を許してやらう。俺は直と此の峰を立つて加賀の白山に行く。汝はいつでもその者を案内して登山しろ。尤も獲物が澤山あるやうに計つて遣るから、彌消次第顔を出した朝日嶽明神の社殿を修繕して、相當の臨時祭を行へ、望はそれだけであるといふ下から翼の音を立てゝ雲のやうに南の空へ飛んで去つた。それがちやうど夜の十一時頃だつたとのことで何だか昔の艸草紙にでも有りさうなお伽話めいた事實を、さも嚴粛に悲々しげに、目の色までも變へて語る樣子が『滑稽といへば滑稽、不思議といへば不思議』三人の耳にはほとんど精神病者の妄譫のやうに聞かれたのであつた。併しまさかに失笑されもせず、熊と眞飽にうけてその勞を犒つた。大野は研究的に『天狗さまが出て來て姿を現すのか』と問ふて見た。と、源作は『いや、姿の見える譯ではないが一生懸命にお縋りを請んで念じてゐると、眼先に霧が流れるやうに眞白になつて、天狗樣の顏が判然と伺いに來る(聞える)』と答へた。大野は精神を集注させて催眠狀態に落入つた時にできて來る一種の幻覺で、ちやうど眼帶術加あたりの間を敎徒が、耳に手をあてゝ信念を凝らしたをりに、神樣の聲が聞こゆると云ふのと同じ心理である」と說明して聞かせて、埃及の法術や、カルデアの魔術や、猶太のカバラや又代に於てさかんに歐米の學者間に研究されてゐるスピリチユアリズム(交靈術)のことなどを得意らしく話した。鳩子も勇も興あることに思つて聞いてゐるうちに、程なく鶏が鳴いた。

いよ/\大規模の熊狩をなすべき準備の日が來た。源作は登山の人夫を募集する務め八方へ奔走した。頭は食糧係になつてそれ/\必要の品を買ひ集めた。それが大抵整つた頃、山形市へ出張した生駒吉十郎は偉大のナイスを連れて歸つて來た。

西洋料理アイスクリム、ハイカラ共 カフヱータイガー

遊漁具■投網 四分目長五間 二尋鉛岩九百匁付極上麻糸製七圓五十錢 絹糸製六圓五十錢 タン糸製六圓 代用アヤ糸製 其他目の大小網の長短等種々有之候 釣道具 投網漁具 其他一式 製造卸 小賣商 監獄署製品販賣所 釣道具販賣地方特約店募集 京城永樂町二丁目 吉備商會

佐藤芝峯送別吟

泉岡吟社に於ては今回其の職を辭して故山に臥せる佐藤芝峯氏の爲めに二十八日送別の宴をパゴダ公園背木堂に開き各自芝峯氏留別の絶句を和し且つ左の聯句を物して其の行を壯にせり

塔洞公園開祖筵 成田 蒼山
芝峯將去氣衝天 江原 如水
蒼茫尻天魚躍淵 小長井 梅陰
醉爲美人擬腰纏 高田 小芥
滿座詩成去後篇 大島 齋山
中有沈吟面壁禪 吉城 梅僕
誰到曹溪無酒泉 栗原 靜陽
閑來御句樂天然 高井 梅堂
北征何罪戰後先 西田 白陰
箇中有此爛柯仙 佐藤 芝峯
白衣欲上月明邊 長部 矢山
桂玉何論買酒錢 齋藤 三笑

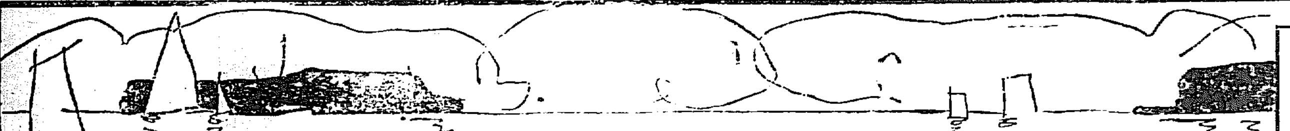
◎コツパ會七月例會句集

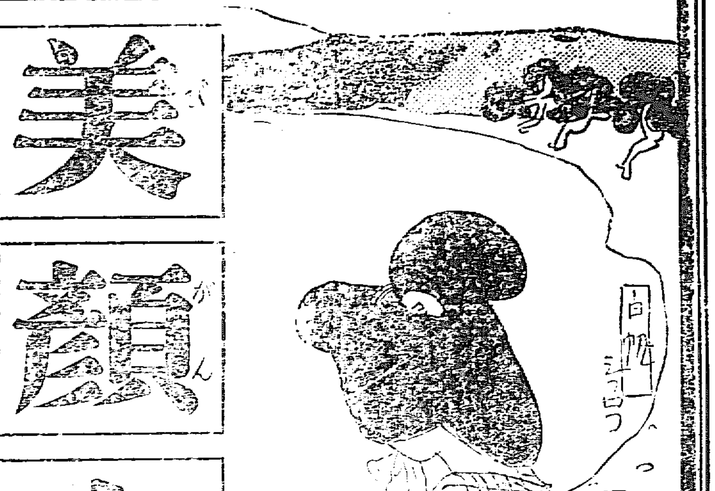
行水の兒等さわぐ蝙蝠多し 柿田
堤豆の伸び深きに蝙蝠集立つ 同
大潮のあと炎天の濱風ぎぬ 同
炎天の舟行繭のいきれ居り 同
蝙蝠がいたづら兒の凝破る 東湖
筏楠や二人がかりの蚊喰鳥 同
かわほりの夜釣の竿をなぶりけり 同
潮待ちの人買舟や蚊喰鳥 袋僊
晦越して麥佩輕し五六梅 同
炎天やあふく動かぬ沼の水 同
雛妓わも戯場に不平ある扇 袋同
炎天や牢屋の婦の高くして 人白
近天や干潟に坐る舟と舟 同
出頭の小き道ふる淸水湧く 同
炎大に引船の人河原通ふ 紅蕉
閻魔の麥飯によき朔日なな 鳥
電車終點に炎天の曲りたり 鶴
蝙蝠やお酒を買ひに行かる來よ 川同
とこと砂跳らして淸水湧く 村同

◎東京三徐雜居の特質 [illegible]

讀者の領分

▲半服は上黑下白と定つた譯のものでない之を歐米の習慣に見るも時候に適し如何樣にするも可なり又夏でも雨天の時には黑雲天には半服さするものに有之黑も夏はセルの薄物を用ひ居れり紐服と白木倉の外なき人には御同情申上候併し之を『ボーイ』服と思はれる謬見は蠢み憐む可き哉正裝に洋傘ステッキ下駄穿きもありこの事京城で見受けざるも地方には在るやも不知是も土地の狀況に依り致し方なき處もあるべし是は贅澤すべき事に無之候(コック生)▲予を短氣なりとて予に忠告(?)的端書を寄せたる氏名不詳者に告ぐ予は如何にも怒り易くして短氣なり喜ぶべきに喜び怒るべきに怒るは偽らざる人性の解剖ならずや予は裏面に廻りてブツ/\小言をならべ憤怨の情を他に告ぐるが如き女性的のことは大嫌ひなり貴任序に一言す今後は無記名の端書を投するが如き卑怯なる振舞を止め正々堂々氏名を記し來れ斯の如き卑怯なる行爲をも汝の所謂美性なりと頗せるや呪(白眼生)▲舟橋町邊に足掛四箇年九三箇年も新築にかゝつて居る三階立の家屋はまだ床もなく雙もなく昇降口の所に電話や電氣を取付けられてある其上每夜二時頃から電話がかゝる人が出入する譯は人相の悪い男が一人出入する一體あの家屋は何の目的になるのですか此頃或人が京城の七不思議の一つだと申しました(呂勝生)▲本町三丁目の某家へ申す共用の水道に於て萬一鍵を使用後打わすれし時は遠方なる家の支配人の處まで持參致さずに氏名の記入ある事なれば近所の宅へ引渡しては如何で御座いますか水道の規則なれば仕方がありません(水の神)





美顔水

容貌の美と垢ヌケ

▽學者の研究……美顔水に現る▲

一番程度の高い美しさとは垢ヌケして美しい事であります。

垢ヌケして居なくては、如何に性來が美しくても、其處にスツとした高い美しさがありません。そこで世にこの美顔水の必要が認められて居るのです。此目的で專門の學者が苦心研究した美顔水は、何人がお使ひになつても、一瓶や二瓶で止めずに續けてさへ被居れば、ちやんと垢ヌケして美しくなる樣に出來て居ますから、洽く上中流御家庭の御信用を蒙つて居るのです。殊に學者の研究で發見された新しい美容成分を原料に加へて効果が一層增してから、美顔水の賣行は又大變に多くなり、評判も彌々高くなつて來ました

■垢ヌケしたお化粧

次に同じお化粧でも、ヤボな田舍臭いお化粧と、スツキリと垢ヌケして如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが、化粧用美顔水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノビが非常に良くなり、思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧振がスツとして垢ヌケのしたホントウに美しいお化粧となりますので、大層重寶がられて居ります。

■絶對にアレを防ぐには…?

美顔水にはネバリ氣無しに皮膚のアレを防ぐといふ珍らしい成分も入つて居りますから、ネバリ氣を好まぬ方には至極適當です。

■ニキビ吹出物を治すには…?

又ニキビや吹出物を治すのには、別に「ニキビとり美顔水」がありますから其れをお薦め致します。

■新美容素を發見したる 桃谷研究試驗部
▲顧問 丹波藥學博士 山本醫學博士
▲主任 桃谷藥學士 小磯藥學士 齊藤藥學士

2576・117

わかさ にて今迄彼是と其他の藥を用ひ効なき方は御用ひあれ ファーザー 價十錢 京城黄金町三丁目 電話二九四九 山田文明堂藥房

朝鮮總督府許可

■内用精 効能 神經衰弱、老衰、精神病、胸病、痔病、子宮病、發育不良より起る諸病の滋養强壯劑なり

■外用精 効能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、肩凝、疝に蟄れ時筋の張れ等によし

定價 六十錢 一圓二十錢 二圓五十錢

人參直引大販賣所 人參エキス 滋養藥薬品製造發賣元 朝鮮名産一切 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二

特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房 松屋 阿部藥房

大邱浦項間自動車 時間 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第三共同丸 八月三日午後入港 八月五日午前十時出帆
朝鮮總督府命令航路
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一共同丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立山丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三榮平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三榮平丸 月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埠頭新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船 出帆

○○○○ 全羅丸 京畿丸 黃海丸 成鏡丸 八月十日 十四日 釜山發
○○○ 慶尙丸 昌平丸 鏡城丸 八月五日 元山發
○○ 忠淸丸 平壤丸 八月四日 十一日 元山發
○ 永興丸 毎月廿八回 元山發
○ 盈德丸 八月 日 釜山發
○○ 江陵丸 漢陽丸 毎日 浦項發
○ 三浦丸 月 日 釜山發
○○ 海州丸 統營丸 毎日 釜山發
○ 順天丸 三日目毎 木浦發
○ 公州丸 八月 日 木浦發
○ 慶興丸 八月 日 木浦發
○ 慶興丸 八月七日 木浦發
○ 宗信丸 八月 日 仁川發
○ 江原丸 八月七日 仁川發
○○ 麗水丸 晋州丸 八月五日 仁川發
○○ 錦江丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
京城切符發賣所 内國通運會社支店

大阪商船仁川出帆

○ 須磨丸 八月十三日 後五時出
○○ 安東丸 天智丸 八月八日 八月四日
○○ 漳州丸 開城丸 八月十三日 後二時出
○○ 信濃川丸 木浦丸 八月廿七日 後二時出
○ 須磨丸 八月 日 後二時出
○○ 鎭南浦丸 大連丸 八月廿二日 後二時出
○ 日米丸 八月廿三日 正午出帆
○ 福州丸 八月九日 後二時出
○ 濟州丸 八月九日 後二時出
○○ 群山丸 福用丸 八月十四日 後二時出
○ 清津丸 八月五日 後二時出
○○ 安東丸 印度丸 八月十三日 後二時出
○○ 上海丸 北陸丸 八月廿二日 後六時出
京城切符發賣所 大阪商船仁川支店

尼崎汽船仁川出帆

○ 君が代丸 八月十日 後四時出帆
○ 有田丸 八月五日 後四時出帆
○ 大代丸 八月十七日 後四時出帆
○ 神吉丸 八月十二日 後四時出帆
○ 秀吉丸 八月十二日 後四時出帆
高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○ 大連、太沽、牛莊行 相模丸 八月六日 正午出帆
○ 高砂丸 八月十六日 正午出帆
三河丸 八月廿七日 正午出帆
堀回漕部